

6.2.1 TR

6.2.1A〔形式〕

TR	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
(Group Field) タイトル及び責任表示に関する事項	必須 1	可変長		1
タイトル、責任表示		(可変長)	(1024 バイト)	(1)
本タイトル	(必須 1)			(無)
タイトル関連情報	(必須 2)			(有)
並列タイトル	(必須 2)			(有)
並列タイトル関連情報	(選択)			(有)
責任表示	(必須 2)			(有)
並列責任表示	(選択)			(有)
タイトルのヨミ*1		(可変長)	(1024 バイト)	(1)
本タイトルのヨミ	(必須 2)			(無)
タイトル関連情報のヨミ	(必須 2)			(有)
並列タイトルのヨミ	(必須 2)			(有)
並列タイトル関連情報のヨミ	(選択)			(有)
タイトルのその他のヨミ	(選択)	(可変長)	(1024 バイト)	(2)

*1 タイトルのヨミは、和資料および洋資料でタイトル中に日本語が現れた場合などに記録する。

6.2.1B〔記述文法〕

記述文法については、「付録 6.3 雑誌書誌データの記述文法」を参照のこと。

6.2.1C〔区切り記号〕

ア) 区切り記号の前後にスペースを置く。

イ) 並列タイトルの直前に、スペース、イコール、スペース ($\Delta = \Delta$) を置く。

ウ) 従属タイトル部の直前に、ピリオド、スペース ($. \Delta$) を置く。従属タイトル部が順序表示と従属タイトルからなる場合は、順序表示と従属タイトルの間に、コンマ、スペース ($, \Delta$) を置く。

エ) タイトル関連情報の直前に、スペース、コロン、スペース ($\Delta : \Delta$) を置く。

オ) 最初の責任表示の直前に、スペース、スラッシュ、スペース (Δ / Δ) を置く。

カ) 2 番目以降の各責任表示直前に、スペース、セミコロン、スペース ($\Delta ; \Delta$) を置く。

キ) タイトルのヨミを記録する場合は、ヨミの直前に、ストローク、ストローク (||)

を置く。

6.2.1D〔フィールド内容とデータ要素〕

TR フィールドには、目録対象資料の本タイトル、タイトル関連情報、責任表示、及び、必要に応じて、タイトル（本タイトルとタイトル関連情報を含む）のヨミ・その他のヨミを、フィールド中のデータ要素として記録する。

それぞれのデータ要素に対応する並列データ要素は、1 あるいは複数存在することがある。

タイトル関連情報および責任表示は、1 あるいは複数存在することがある。

6.2.1E〔データ要素の情報源〕

TR フィールドのデータ要素の情報源は、和逐次刊行物は、初号の表紙、タイトル・ページ、キャプション、奥付、背またはジャケットの順で採用する。洋逐次刊行物は、初号のタイトル・ページを優先情報源として使用するが、タイトル・ページがない場合は、表紙、キャプション、マストヘッド、奥付、背の順で採用する。初号がない場合は、所蔵する最も古い号とする。

6.2.1F〔データ記入及び記入例〕

F1（本タイトル）

本タイトルは、記述対象とする逐次刊行物全体を通じて共通し、他の資料と同定識別できる固有の名称である。

F1.1（データ記入の原則）

本タイトルは、原則として、表示されているまゝを記録する。

大文字使用法は、NCR2018 の付録 A.2 を採用する。付録 A.2 で規定していない事項は、当該言語の慣用に従う。

和逐次刊行物については、タイトル・ページよりも表紙を優先し、次の優先順位で優先情報源を選定する。

- a) 表紙
- b) タイトル・ページ
- c) キャプション
- d) 奥付
- e) 背

洋逐次刊行物については、タイトル・ページがある場合は、これを優先情報源として使用する。

優先情報源として選定した情報源以外の箇所に表示されているタイトルは「その他のタイトル」として、表示箇所を示す「タイトルの種類コード」と共に、VT フィールドに記録する。（→付録 1.4 タイトルの種類コード表）

TR:100 万人の音楽通信||100 マンニン ノ オンガク ツウシン
TR:ABC 研究||ABC ケンキュウ
TR:きよめの友||キヨメ ノ トモ
TR:ダイヤモンド経済情報||ダイヤモンド ケイザイ ジョウホウ
TR:愛知学藝雑誌||アイチ ガクゲイ ザッシ
TR:雨情会々報||ウジョウカイ カイホウ
TR:鐵道省年報||テツドウショウ ネンポウ
TR:ATZ
TR:Annual report
TR:Le monde
TR:Boston evening transcript
TR:Journal
TR:Unesco－Asia
TR:100 ideas
TR:The geological magazine, or, Monthly journal of geology

本タイトルを、和逐次刊行物は表紙、洋逐次刊行物はタイトル・ページ以外の箇所から採用した場合、その場所を NOTE フィールドに記録する。（→ 6.2.7F3.2.1）

F1.2（完全形と省略形）

いずれも表示されているときは、完全形のタイトルを記録する。

TR:Linguistics and language behavior abstracts : LLBA
（主情報源に完全形および「LLBA」と表示されている）

F1.3（2つ以上の言語で表示されている場合）

同一情報源に異なるタイトルの表示がある場合、主な内容で使われている言語または文字種によるタイトルを本タイトルとして記録する。

内容が言語表現によらない資料、または主な内容が一言語でない資料の場合は、情報源での表示順序、配置、デザイン等に基づいて本タイトルを選定する。

本タイトルとして記録しなかったものは、並列タイトルとする。

F1.4（団体名が本タイトルの一部であるかどうか判断できない場合）

情報源にタイトルと共に表示されている団体名（またはその略語）が、本タイトルの一部であるかどうか判断できない場合、その逐次刊行物の他の箇所の表示を参考にする。つまり、その団体名が他の箇所でもタイトルと共に表示されている場合は、本タイトルと判断し、本タイトルに含めて記載する。

F1.5（回次・日付などを含むタイトル）

本タイトル中に、号ごとに変わる回次、日付、名称などが含まれる場合は、この部分を省略記号（...）に置き換える。

TR:日韓歴史共同研究プロジェクト第…回シンポジウム報告書||ニッカン レキシ キョウドウケンキュウ プロジェクト ダイ…カイ シンポジウム ホウコクシヨ
(各巻の情報源の表示: 第 11 回, 第 12 回などの回次が変化)

TR:Proceedings of the ... International Seaweed Symposium

TR:Report on the ... Conference on AIDS and Alternative Medicine

ただし、TR:Annual report とし、... annual report とはしない

F1.6（刊行頻度を示す語）

タイトルと一緒に表示されている刊行頻度を表す語は、同定識別上の必要があれば本タイトルの一部とみなすことができる。タイトル関連情報としては扱わない。表示の仕方が本タイトルの一部かどうか紛らわしい場合は、並列タイトルや他の箇所に表示されているタイトルの形を参考にする。

TR:週刊朝日||シュウカン アサヒ

TR:The Atlantic monthly

TR:Weekly market bulletin

F1.7（別タイトル）

情報源に表示されている別タイトルは、本タイトルの一部として表示されている場合は本タイトル、サブタイトルとして表示されている場合はタイトル関連情報として記録する。

F2（従属タイトル）

本タイトルは、部編に共通するタイトルと、個々の部編、補遺等のタイトルおよび（または）順序表示から構成される場合がある。

この部編に共通するタイトルを「共通タイトル」、部編、補遺等のタイトルを「従属タイトル」という。

共通タイトルと従属タイトルおよび（または）順序表示は、原則として同じ情報源上に

表示されていなければならない。

F2.1 (データ記入の原則)

「従属タイトル」および（または）「順序表示」を含む部分を「従属タイトル部」という。共通タイトルと従属タイトル部は、ピリオド、スペース（.△）で区切って記録する。このような場合は、優先情報源に表示された本タイトル各部分の構成順序にこだわらない。

F2.2 (順序表示がある場合など)

従属タイトル部が、順序表示と従属タイトルからなる場合は、その間をコンマ、スペース（,△）で区切って記録する。

TR: 愛媛大学紀要. 第一部, 人文科学||エヒメ ダイガク キョウ. ダイ 1 ブ, ジンブン カガク
TR: Proceedings of the National Science Council, Republic of China. Part D,
Mathematics, science and technology education

従属タイトル部が 2 以上の階層を持つ場合は、上位にあたるものから順に、ピリオド、スペース（.△）で区切る。

TR: 金沢大学教育学部紀要. 自然科学編. 地学教室業績||カナザワ ダイガク キョウイク ガ
クブ キョウ. シゼン カガクヘン. チガク キョウシツ ギョウセキ
TR: Memoirs of the Faculty of General Education, Kumamoto University. Natural sciences.
Part 1, Mathematics

表示の仕方が順序表示、従属タイトルに該当するか紛らわしい場合は、その逐次刊行物における表示の継続性、安定性により判断する。

F2.3 (独自のタイトルを持つ部編資料)

別個に出版され、独自のタイトルを持ってはいるが、他の逐次刊行物の部編にあたる出版物の場合、優先情報源に共通タイトルが表示されていれば、それらを組み合わせた形で本タイトルを記録する。

TR: Transactions of the ASME. Journal of dynamic systems, measurement and control

優先情報源に共通タイトルが表示されていない場合は、従属タイトルだけを TR に記録する。共通タイトルは「その他のタイトル」として、VT フィールドにタイトルの種類コード（PT）とともに記録する。（→ 6.2.6F5.1）ただし、共通タイトルが優先情報源以外の箇所には表示されておらず、従属タイトルがそれ単独では独自のタイトルとならない

場合は、例外として、共通タイトルと従属タイトルがともに表示されている箇所を本タイトルの情報源とし、それらをあわせたものを本タイトルとして記録する。(NACSIS 独自規定)

これらの情報源については、NOTE フィールドに記録する。(→ 6.2.7F3.2.1 ア)

NOTE:共通タイトル部は奥付による

F2.4 (共通タイトルが不安定な場合)

共通タイトルが従属タイトルと同一情報源上にあつたりなかつたりする場合、または号によって表現がまちまちである場合、この共通タイトルは TR フィールドには記録せず、VT フィールドに「タイトルの種類コード」(PT)と共に記録する。(→ 6.2.6F5.2)

F2.5 (従属タイトルが優先情報源上にない場合)

優先情報源上に共通タイトルが表示され、目録対象資料の他の箇所に従属タイトルおよび(または)順序表示がある場合は、従属タイトル部を角括弧([])に入れて補記し、その情報源を NOTE フィールドに記録する。

TR:国際関係研究. [特集編]||コクサイ カンケイ ケンキュウ. トクシュウヘン

NOTE:従属タイトル部は奥付による

TR: Neumanns Jahrbuch der deutschen Versicherungswirtschaft. [Teil 2, Schaden- und Rückversicherung]

NOTE:Title of the section on cover and spine (1961-1963) ; on title page (1964-1976)

F2.6 (付録・補遺資料)

優先情報源に、ある逐次刊行物のタイトルとその付録や補遺であることを示す表示がある場合、本体にあたる逐次刊行物のタイトルを共通タイトルとして記録し、ピリオド、スペース(.△)に続けて、付録や補遺である表示を記録する。

ただしこれは、付録や補遺が本体とは別の独自の巻号付けを持つ場合に限る。

本体と同一の巻号付けを持つ場合は、原則として別データを作成しない。

TR:埼玉大学紀要. 増刊||サイタマ ダイガク キョウ. ゾウカン

TR:Management international review. Special issue Growth. Supplement

また、付録や補遺を示す語が、本体のタイトルと結びついて 1 つのタイトルになっている場合は、その表示の通りに記録する。

TR:別冊みづゑ||ベッサツ ミズエ

TR:Supplement zur allgemeinen Forst und Jagdzeitung

F2.7 (独自のタイトルを持つ付録・補遺資料)

付録や補遺が独自のタイトルを持っていて、優先情報源上に本体の付録・補遺であることを示すタイトル名とともに表示されている場合がある。この時、目録対象資料の他の箇所に表示されている形や、同じ本体に属する他の付録・補遺資料を参考にし、下記のいずれかの方法をとる。

a.この独自のタイトルを本タイトルとして記録する。

b.本体となる逐次刊行物のタイトルの後ろに、従属タイトルとして記録する。

b) で記録された逐次刊行物の刊行途中に本体のタイトルに重要な変化が生じた場合は、タイトル変遷とはせず、a) の方法で全体を記録しなおす。

(従属タイトルとして記録した場合)

TR:European economy. Supplement ser. B, Economic prospects-buisness survey results

F2.8 (逐次刊行物全体の順序づけを表す表示)

「新編」，「II」，「New series」あるいはこれと類似した、年代順のシリーズ呼称を表す表示があり、シリーズ等に独自の巻次がある場合、順序づけを表わす表示を従属タイトルとして記録する。(NACSIS 独自規定) (→ 6.0.1A1)

TR:科学技術文献総覧. 新輯||カガク ギジュツ ブンケン ソウラン. シンシュウ

TR:エピステーメー. II||エピステーメー. 2

TR:海外大学経営セミナー報告書. 第2次||カイガイ ダイガク ケイエイ セミナー ホウコク ショ. ダイ 2 ジ

TR:Bulletin of the Brooklyn Public Library. New series

TR:Gelehrte Anzeigen. II

TR:Drama. Ser. 3

F2.9 (逐次刊行物全体の順序づけを表わす表示の追加・変化・削除)

逐次刊行物全体の順序づけを表わす表示の追加・削除・変化があった場合、巻次変更を伴わないかぎりタイトル変遷とはしない。追加・削除・変化後のタイトルについては、必要に応じて VT フィールド (タイトルの種類コード: OH) , NOTE フィールドに記録する。(NACSIS 独自規定)

TR:早稲田文学. 第8次||ワセダ ブンガク. ダイ8ジ

VT:OH: 早稲田文学. 第9次||ワセダ ブンガク. ダイ9ジ

NOTE:シリーズ表示の変化: 第8次 (-no.251 (1997. 4))→第9次 (no.252 (1997. 5)-)

TR:Science. New series

VT:OH:Science

NOTE:Volumes for 1946- designation of New series not appeared

F3 (並列タイトルおよび並列タイトル関連情報)

並列タイトル及び並列タイトル関連情報は、本タイトル及びタイトル関連情報として選定されたタイトルに対応して、そのタイトルの別言語及び(又は)別の文字で所定の情報源中に表示され、本タイトルと同等の意味を持っているものである。そのうち、本タイトル等と同一個所に表示されているもののみを並列タイトルとして TR フィールドに記録することができる。

F3.1 (データ記入の原則)

並列タイトルは、本タイトルに続けて記録する。

本タイトルと並列タイトルは、スペース、イコール、スペース (△=△) で区切って記録する。

TR:シュトイエル = Steuer||シュトイエル

TR:Lumière = 季刊映画リュミエール||Lumière = キカン エイガ リュミエール

TR:Neue Technik = New techniques

TR:Revue européenne de droit de la consommation = European consumer law journal = Revista europea de derecho del consumo

TR:Trade of Canada. Imports by commodities = Commerce du Canada. Importations par marchandises

並列タイトルが並列タイトル関連情報を伴う場合、並列タイトルと並列タイトル関連情報は、スペース、コロン、スペース (△:△) で区切って記録する。

TR:京都大学情報環境機構年報: 自己点検評価報告書 = Annual report of the Institute for Information Management and Communication, Kyoto University : self-study report||キョウト ダイガク ジョウホウ カンキョウ キコウ ネンポウ : ジコ テンケン ヒョウカ ホウコクシヨ

F3.2 (優先情報源以外の並列タイトル)

優先情報源以外の箇所に表示されている別言語・別文字タイトルは、TR フィールドに記録しない。これは「その他のタイトル」と見なし、表示箇所を示すタイトルの種類コードとともに VT フィールドに記録する。(→ 6.2.6F7)

F3.3 (複数の並列タイトルおよび (または) 並列タイトル関連情報)

並列タイトルを記録する場合、異なる言語・文字による複数の並列タイトルのうち、最初に表示された並列タイトル、あるいは最も顕著に表示された並列タイトルは必ず記録する。

それ以外の並列タイトルを記録する場合、情報源での表示順序、配置、デザイン等に基づいて判断した順に記録する。

並列タイトルがなく、タイトル関連情報のみが並列している場合、並列タイトル関連情報については、TR フィールドには記録せず、必要に応じて、VT フィールドに記録する。

TR: Bulletin : offizieller Bericht über die XX. Olympiade

VT:CV:Rapport officiel sur la XXe Olympiade

(表紙に本タイトルとタイトル関連情報、並列タイトル関連情報が表示されている)

F3.4 (日本語の並列タイトル)

並列タイトルに日本語のタイトルが含まれている場合は、その語句のヨミによる検索が可能となるように、そのヨミを規定に従って記録する。

またこの時、漢字形のキーワード作成を正しく行うために、本タイトル (欧文形) のヨミも記録する。(NACSIS 独自規定)

TR:Journal of the Faculty of Science, University of Tokyo. Sect. 5, Anthropology = 東京大學理學部紀要. 第5類, 人類||Journal of the Faculty of Science, University of Tokyo. Sect. 5, Anthropology = トウキョウ ダイガク リガクブ キョウ. ダイ5ルイ, ジンルイ

F3.5 (並列タイトルおよび (または) 並列タイトル関連情報の変更・追加)

刊行途中で並列タイトルおよび (または) 並列タイトル関連情報の変更や追加があった場合は、TR フィールドには記録せず、「その他のタイトル」として、「タイトルの種類コード」(OH) と共に VT フィールドに記録する。

また、変更・追加のあった巻次・年月次と共に NOTE フィールドに記録する。(→ 6.2.7F3.2.1ウ)

並列タイトルおよび (または) 並列タイトル関連情報の変更・追加・表示順序の変更は、タイトル変遷の根拠とはならない。(→ 6.0.1)

F4 (タイトル関連情報)

タイトル関連情報は、本タイトルと同一の情報源上に表示された、本タイトル及び並列タイトル以外のタイトル、あるいは本タイトルに補完、限定説明を加える語句である。

F4.1 (データ記入の原則)

タイトル関連情報は、その関わる本タイトルに続けて記録する。

本タイトルとタイトル関連情報は、スペース、コロン、スペース (△:△) で区切って記録する。並列タイトルや責任表示がある場合は、その前に記録する。

TR:おんかん : 音楽鑑賞教育振興会会報||オンカン : オンガク カンショウ キョウイク シンコウカイ カイホウ

TR:海潮音 : 英文學雑誌||カイチョウオン : エイブンガク ザッシ

TR:FEBS letters : for the rapid publication of short reports in biochemistry, biophysics and molecular biology

F4.2 (本タイトルと対応していない別言語タイトル)

本タイトルと意味的に対応していない別言語・別文字タイトルは、タイトル関連情報として扱う。

F4.3 (優先情報源以外にある本タイトルと異なる形のタイトル)

優先情報源以外にある本タイトルの異形は、タイトル関連情報として記録せず、「その他のタイトル」と見なして、表示箇所を示す「タイトルの種類コード」と共に VT フィールドに記録する。(→ 6.2.6D2)

F4.4 (複数のタイトル関連情報)

複数のタイトル関連情報は、情報源での表示順序、配置、デザイン等に基づいて判断した順で記録する。

TR:外国語科教育 : 教員養成学部教官研究集会 : 外国語科部会研究要録||ガイコクゴカ キョウイク : キョウイン ヨウセイ ガクブ キョウカン ケンキュウ シュウカイ : ガイコクゴカ ブカイ ケンキュウ ヨウロク

TR:Q : question : the independent political review : arts, business, science

F4.5 (タイトルの完全形と省略形)

タイトルの完全形と省略形において、省略形のタイトルが完全形のタイトルと共に表示されている場合、省略形をタイトル関連情報として記録する。(→ 6.2.1F1.2)

TR:Jornal Brasileiro de medicina : J.B.M.

F4.6 (タイトル関連情報の変更・追加)

タイトル関連情報の変更や追加があった場合は、TR フィールドには記録せず、「その他のタイトル」として、「タイトルの種類コード」(OH)と共にVTフィールドに記録する。

また、NOTE フィールドに変更・追加のあった巻次・年月次と共に記録する。(→ 6.2.7F3.2.1 エ)

タイトル関連情報の変更・追加・表示順序の変更は、タイトル変遷の根拠とはならない。

F5 (責任表示)

責任表示は、資料の知的・芸術的内容の創作または実現に、責任を有するか寄与した個人・家族・団体に関する表示である。

F5.1 (データ記入の原則)

責任表示は、その逐次刊行物の編者などに、著作の種類を示す語(編等)を付したものを、情報源の表示形のまま記録する。

責任表示は、タイトルの後に、スペース、スラッシュ、スペース(△/△)で区切って記録する。

団体名称が、内部組織を含めて表示されている時でも、そのままの形で記録する。

識別上必要な場合以外、団体名に含まれる法人組織などを示す語は省略する。

TR:音楽雑誌フィルハーモニー / 日本交響楽団 [編]||オンガク ザッシ フィルハーモニー

TR:住宅用地完成面積調査報告 / 建設省建設経済局調査情報課 [編]||ジュウタク ヨウチカンセイ メンセキ チョウサ ホウコク

TR:Nyasaland journal / Nyasaland Society

情報源に責任を有するものの表示が複数あり、それらが同一の名称、役割を示す語句を複数の言語または文字種で表示しているだけの場合は、内容と同一の言語または文字種によるものを記録する。

内容と同一の言語または文字種による表示がない場合は、最初に表示されているものを記録する。

F5.2 (完全な形では表示されていない責任表示)

優先情報源に責任表示が簡略形や別言語・別文字表記でしか表示されていない場合は、他の箇所から完全な形がわかっても、表示されているそのままの形を記録する。

目録担当者の判断で合成・補完・翻訳・翻字などを行ってはならない。

そのような表示が必要なときは、AL フィールドまたは該当著者名典拠データの SF フィールドに記録する。

TR:STERA : satellite television radio : NHK ウィークリーステラ / NHK [編]||STERA : satellite television radio : NHK ウィークリー ステラ

AL:日本放送協会||ニホン ホウソウ キョウカイ

TR:Human development report / UNDP

AL:United Nations Development Programme

F5.3 (責任表示の変更・追加)

刊行途中で責任表示の変更や追加があった場合や、途中の号から表示された場合は、TR フィールドには記録せずに、NOTE フィールドに変更・追加のあった巻次・年月次と共に記録する。(→ 6.2.7F3.2.2 イ)

TR:SELLA / 白百合女子大学英文学会 [編]||SELLA

NOTE:責任表示の変更: 白百合女子大学英文学会 (1号 (1972)-23号 (1994))→白百合女子大学英語英文学会 (24号 (1995)-)

F5.4 (総称的タイトルの責任表示)

本タイトルが総称的 (ジェネリック) なものである場合は、識別のために責任表示を必ず記録する。もし情報源に責任表示がない場合は、角がっこに入れて補記する。(NACSIS 独自規定) (→ 6.0.3)

TR:研究紀要 / 宮城県高等学校社会科教育研究会紀要編集委員会 [編集]||ケンキュウ キョウ

TR:年報 / [千葉県立大利根博物館編集]||ネンポウ

TR:Journal / American Academy of Actuaries

F5.5 (総称的タイトルの責任表示の変更)

責任表示の変更・追加はタイトル変遷の根拠とはならないが、本タイトルが総称的 (ジェネリック) である場合は、別書誌データを作成する。(NACSIS 独自規定) (→ 0.4.3 [TR], 6.0.1A2, 6.0.3)

TR:研究紀要 / 宮城県高等学校社会科教育研究会紀要編集委員会 [編集]||ケンキュウ キョウ

TR:年報 / [千葉県立大利根博物館編集]||ネンポウ

TR:Annual report / Chamber of Shipping of the United Kingdom

TR:Annual report / General Council of British Shipping

F5.6 (個人に関する責任表示)

情報源に個人編者に関する責任表示があっても、これを責任表示として記録しない。必要ならば、NOTE フィールドに記録する。(→ 6.2.7F3.2.2 オ)

TR:早晩廢刊雑誌||ソウバンハイカンザッシ

NOTE:主筆: 宮武外骨

F5.7 (タイトル及びタイトル関連情報中の責任表示団体)

責任表示に該当する団体名が本タイトルまたはタイトル関連情報の一部として表示されていても、タイトルとは独立した責任表示が優先情報源上にないかぎり、それを責任表示として記録しない。

TR:電気通信学会全国大会講演論文集||デンキツウシンガツカイゼンコクタイカイコウエンロンブンシュウ

TR:Mark Twain Society bulletin

F5.8 (団体名の役割表示)

団体名の役割に関する表示が、団体名と一体となって表示されていれば、それを含めたもの(“edited by ○○”など)を責任表示として記録する。

ただし、“Editor: ○○”などと、役割に関する表現が団体名と一体となって表示されていない場合や、全く表示されていない場合、必要があれば団体名の前に補記する。

TR:Human factors in computing systems : CHI ... Conference proceedings / sponsored by the ACM Special Interest Group on Computer ...

F5.9 (複数の責任表示)

同じ役割の責任表示が複数ある場合は、個々の責任表示を、コンマ、スペース(,△)で区切って、所定の情報源における表示で記録する。

役割の異なる責任表示が複数ある場合は、役割の異なる責任表示を、スペース、セミコロン、スペース(△;△)で区切って記録する。

F6 (並列責任表示)

並列責任表示は、対応する並列タイトルと同一の情報源上に表示された、責任表示として記録したものの、異なる言語および(または)文字種による同一内容の表示である。

F6.1 (データ記入の原則)

並列責任表示は、その関わる並列タイトルに続けて記録する。

並列タイトルと並列責任表示は、スペース、スラッシュ、スペース (△/△) で区切って記録する。

情報源に、本タイトルに関係する並列責任表示が複数の言語および（または）文字種で表示されている場合は、対応する並列タイトルと同一の順に記録する。対応する並列タイトルが存在しない場合などは、表示されている順に、本タイトルに関係する責任表示に続けて、スペース、イコール、スペース、スラッシュ、スペース (△=△/△) で区切って記録する。

TR:Newsletter to European health librarians / European Association for Health Information and Libraries = / Association européenne pour l'information et les bibliothèques de santé

F7 (タイトルのヨミ, タイトル関連情報のヨミ)

タイトルやタイトル関連情報（並列タイトル及び並列タイトル関連情報を含む）のヨミおよびその他のヨミは、必要に応じて、それに対応する読み方を記録する。

ヨミの表記法については、「目録情報の基準」11.3（ヨミの表記及び分かち書き規則）による。

その他のヨミの記録については、当該言語の規定に従う。

6.2.1G [フィールドの繰り返し]

フィールドの繰り返しはない。

6.2.1H (選択事項)

H1 (並列タイトル関連情報)

並列タイトル関連情報を記録するかどうかは、各参加組織が選択できる。

H2 (並列責任表示)

並列責任表示を記録するかどうかは、各参加組織が選択できる。

6.2.1I 《注意事項》

大文字使用法は、NCR2018の付録A.2を採用する。

付録A.2で規定していない事項は、当該言語の慣用に従う。(→ 6.2.1F1.1)

6.2.2 ED

6.2.2A〔形式〕

ED	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
(Group Field) 版表示に関する事項	必須 2	可変長	512 バイト	1
版次	(必須 1)			(無)
版に関する責任表示	(必須 2)			(有)
並列版次	(選択)			(有)
版に関する並列責任表示	(選択)			(有)
付加的版次	(必須 2)			(有)
付加的版に関する責任表示	(選択)			(有)

6.2.2B〔記述文法〕

記述文法については、「付録 6.3 雑誌書誌データの記述文法」を参照のこと。

6.2.2C〔区切り記号〕

ア) (最初の)版に関する責任表示・版に関する並列責任表示・付加的版に関する責任表示の直前に、スペース、スラッシュ、スペース (△/△) を置く。

ただし、版に関する並列責任表示について、責任表示のみが並列する場合に限り、直前に、スペース、イコール、スペース、スラッシュ、スペース (△=△/△) を置く。

イ) 2 番目以降の各責任表示の直前に、スペース、セミコロン、スペース (△;△) を置く。

ウ) 並列版次の直前に、スペース、イコール、スペース (△=△) を置く。

エ) 付加的版次の直前に、コンマ、スペース (,△) を置く。

6.2.2D〔フィールド内容とデータ要素〕

ED フィールドには、以下の内容を記録する。

ア) 版次

同一のタイトル (言語・文字を異にする場合もある) を持ち、内容がほぼ同一で、言語や表現、体裁を異にして刊行されたもの相互間、あるいは内容の一部を変更して刊行されたものの相互間、あるいはそれらと原本との関係・相違を表す表示。ただし、装丁の相違のみを表す語句はこれに含めない。

イ) 版に関する責任表示

当該資料の 1 種類以上の版に対しては関係しているが、すべての版に対しては関係して

いないような責任表示をいう。

ウ) 並列版次

版次が2以上の言語または2種類以上の文字で表示されている場合の表示をいう。

エ) 付加的版次

ある版に対して変更が加えられ再発行されたような場合に、その特定化された版に付加される版次をいう。

以上に加え、版に関係する並列責任表示、付加的版に関係する責任表示もデータ要素となる。

6.2.2E [データ要素の情報源]

ED フィールドのデータ要素の情報源は、次の優先順位で情報源を選定する。

- a) 本タイトルと同一の情報源 (→6.2.1E)
- b) 資料自体の他の情報源
- c) 資料外の情報源

ただし、並列版次・付加的版次については版次と同一の情報源を、並列付加的版次については付加的版次と同一の情報源を、各種責任表示については対応する版次と同一の情報源を、それぞれ第一の情報源として選定する。

版に関係する並列責任表示について、対応する並列版次が存在しない場合は、版次と同一の情報源から採用する。

6.2.2F [データ記入及び記入例]

F1 (データ記入の原則)

版次は、情報源における表示のまま記録する。情報源上に表示がなくても、他の版と顕著な差があると認められた場合は、適切な語句などを補うことによって、特定の版であることを示す必要がある。ただし、初版の表示は記録しない。

漢数字、ローマ数字等アラビア数字以外の数字、語句で表記される数字はアラビア数字で記録する。

略語は、情報源に略語が表示されている場合に限り使用する。

並列版次を記録するかどうかは、各参加組織が選択できる。

情報源中に複数の版次が混在する場合、適切なもののうち、より顕著に表示されている方を採用し、採用しなかったものは必要に応じてNOTEフィールドに記録する。

複数の表示が混在する場合として、例えば次のようなものがある。

- ア) 「改訂増補版」という表示と「第3版」という表示が情報源に混在している。
- イ) 「第」という表示が付いていたりいなかったりする。

F1.1 (版次とするもの)

次のものは、版次として記録する。

ア) 地方版の表示

ED:国内版

ED:首都圏版

ED:北海道・東北版

ED:American ed (情報源の表示: American ed.)

ED:International edition (情報源の表示: International edition)

ED:North American ed (情報源の表示: North American ed.)

イ) 特定対象向けの版の表示

ED:学生版

ED:Students ed (情報源の表示: Students ed.)

ED:Édition pour le médecin (情報源の表示: Édition pour le médecin)

ウ) 特殊な体裁または形態の表示

ED:縮刷版

ED:マイクロフィルム版

ED:CD-ROM 版

ED:カセットテープ版

ED:点字版

ED:机上版

ED:Microfilm ed (情報源の表示: Microfilm ed.)

ED:Microform edition (情報源の表示: Microform edition)

ED:Microfiche ed (情報源の表示: Microfiche ed.)

ED:CD-ROM edition (情報源の表示: CD-ROM edition)

ED:Annual edition (情報源の表示: Annual edition)

ED:Cumulated ed (情報源の表示: Cumulated ed.)

エ) 言語版表示

ED:日本語版

ED:中文版

ED:English ed (情報源の表示: English ed.)

ED:German edition (情報源の表示: German edition)

ED:Édition française (情報源の表示: Édition française)

オ) 逐次刊行物全体の再刊または改訂を示す、複製版表示または再刊の表示

- ED:復刻版
- ED:複製版
- ED:影印版
- ED:再版
- ED:遡及版
- ED:Reprint edition (情報源の表示: Reprint edition)
- ED:2nd ed (情報源の表示: 2nd ed.)
- ED:3rd edition (情報源の表示: Third edition)
- カ) 刊行方法の違いを示す版の表示
 - ED:公文書版
 - ED:市販本版
 - ED:普及版

F1.2 (版次としないもの)

以下のものは版次として扱わない。

- ア) 巻次・年月次を示す表示
 - 1989 edition (情報源の表示: 1989 edition)
 - April ed (情報源の表示: April ed.)
 - 1st ed. (1980) – 2nd ed. (1981)
- イ) 定期的な改訂を示す表示 (例えば 6 か月毎に発行する改訂版)

さらに、以下のものも版次としない。

- ウ) 特定号のみの改訂を示す表示
- エ) 部編を示す表示
 - 累積索引版
 - 第 2 次
 - American digest. Century edition (情報源の表示: Century edition)
 - American digest system. 5th decennial ed (情報源の表示: 5th decennial ed.)
 - Chain store age. General merchandise edition (情報源の表示: General merchandise edition)
- オ) 出版者を示す表示
 - 学生社版
 - 一粒社版
 - 日本評論社版
 - Elsevier ed (情報源の表示: Elsevier ed.)
- カ) 刷次を示す表示

キ) タイトル関連情報にあたる表示

新聞広告:縮刷版 (全国主要新聞に掲載された広告を編集した月刊誌)

調査資料版

緊急特集版

F2 (版に関係する責任表示)

その版のみに関わる、あるいは他の版にも関わるが全ての版には関わらない責任表示は、版次に続けて記録する。

同じ役割の版に関係する責任表示を列記する場合は、コンマ、スペース (,)、△) でつなぐ。

役割の異なる版に関係する責任表示を列記する場合は、スペース、セミコロン、スペース (Δ;Δ) でつなぐ。

ED:復刻版 / 幼児の教育復刻刊行会編

ED:[復刻版] / 法政大学大原社会問題研究所, 総同盟五十年史刊行委員会編

ED:Reprint ed. / ALA (情報源の表示: Reprint ed.)

情報源に、版に関係する責任表示が複数の言語または文字種で表示されている場合は、本タイトルと同一の言語または文字種によるものを記録する。本タイトルと同一の言語または文字種による表示がない場合は、最初に表示されているものを記録する。

F3 (並列版次および版に関係する並列責任表示)

版次が2以上の言語または文字で表示されている場合、本タイトルの言語・文字による表示を採用する。

また、任意に、2番目以降の表示は並列版次として、それぞれをスペース、イコール、スペース (Δ=Δ) でむすんで記録してもよい。

並列版次が複数ある場合は、情報源での表示順序、配置、デザイン等に基づいた順に記録する。

版に関係する並列責任表示は、対応する並列版次と同一の情報源上に表示された、版に関係する責任表示として記録したものと異なる言語および(または)文字種による表示であり、対応する並列版次の後に、スペース、スラッシュ、スペース (Δ/Δ) で区切って記録する。

F4 (付加的版次および付加的版に関係する責任表示)

ある版の中にさらに変更が加えられ、特定の版次がある場合、情報源における表示のまま記録する。

付加的版次の種類としては、次のようなものがある。

ア) 特定の版に属する下位の版

ED:[カセットテープ版], 英語版

ED:North American ed., Canadian ed (情報源の表示: North American ed., Canadian ed.)

イ) 特定の版の改訂版, 増補版

ED:復刻版, 新装版

ED:Reprint edition, 2nd edition (情報源の表示: Reprint edition, Second edition)

付加的版に関する責任表示は、責任表示のうち、特定の付加的版に関する表示であり、対応する付加的版次の後に、スペース、スラッシュ、スペース (△/△) で区切って記録する。

付加的版次、付加的版に関する責任表示が複数の言語または文字種で表示されている場合は、本タイトルと同一の言語または文字種によるものを記録する。内容と同一の言語または文字種による表示がない場合は、最初に表示されているものを記録する。

6.2.2H 《注意事項》

H1 (版次の変更・追加)

刊行途中に版次に対象範囲や主題が変わったことを示す変化がある場合は、タイトル変遷とみなし別書誌データを作成する。(→6.0.1A5, 6.2.7F3.2.3)

ただし、版次の表現上の変化、版に関する責任表示の変更・追加は別書誌データ作成の根拠とはならない。これらの情報は、NOTE フィールドに記録する。

H2 (複製版の原本に関わる版次)

複製版において、複製の対象になった原本に関わる版次は、NOTE フィールドに記録する。付加的版次としてはならない。(→6.0.2 C14)

6.2.3 VLYR

6.2.3A〔形式〕

VLYR	入力レ ベル	属性	フィール ド長	繰り返 し数
順序表示（巻次・年月次）に関する事項	必須 2	可変長	1024 バイ ト	1
巻次・年月次表示	必須 1			無
別形式の巻次・年月次表示	選択			有
巻次変更後の巻次・年月次表示	必須 2			有

6.2.3B〔記述文法〕

記述文法については、「付録 6.3 雑誌書誌データの記述文法」を参照のこと。

6.2.3C〔区切り記号〕

ア) 初号の順序表示（巻次・年月次）の直後にハイフン（-）を置く。巻次に続く年月次は丸がっこに入れる。丸がっこ（一対）の前にスペース（△（））を置く。

イ) 別形式の順序表示の直前に、スペース、イコール、スペース（△ = △）を置く。

ウ) 順序表示方式に変化があった場合、巻次変更後の巻次・年月次表示の直前に、スペース、セミコロン、スペース（△ ; △）を置く。

6.2.3D〔フィールド内容とデータ要素〕

VLYR フィールドには、逐次刊行物の各出版物理単位を順序付けする巻次及び年月次表示を記録する。

巻次は番号などにより順序付けを示すものであり、年月次は年月日あるいはそれに準じた暦に関連する記号により順序付けを示す。これに対して出版日付は、出版年や出版日を明示したものであり、年月次と基本的に性格を異にする。巻次・年月次を持たない資料は、逐次刊行物として扱うことはできない。

6.2.3E〔データ要素の情報源〕

VLYR フィールドのデータ要素の情報源は、次の優先順位で選定する。

ただし、識別またはアクセスに重要な場合は、a)よりも b)を優先して選択する。

a) 初号または終号の本タイトルと同一の情報源（→6.2.1E）

b) 初号または終号の資料自体の他の情報源

VLYR は、初号（あるいは変遷直後号）と終号（あるいは変遷直前号）によってのみ、記録が可能である。初号も終号も所蔵していない場合は、このフィールドには記録できな

い。

6.2.3F〔データ記入及び記入例〕

F1 (データ記入の原則)

F1.1 (巻次の転記)

巻次の転記に当たっては、数詞・数字は原則としてアラビア数字を用いる。序数は、当該言語の標準的な序数を示す表記の形式で記録する。例えば、日本語等では「第」を省略せず、英語では「1st」, 「2nd」, 「3rd」, 「4th」などの形式で記録する。略語は、情報源に略語が表示されている場合に限り使用する。

欧文表記の場合は、各言語の大文字使用法に従って記録し(→ NCR2018 付録#A.2), 巻レベルと号レベルの間は、コンマ, スペース(, △)を挿入する。

VLYR:1 輯 (情報源の表示: 1 輯)

VLYR:第 1 回 (情報源の表示: 第 1 回)

VLYR:第 1 巻第 1 号 (情報源の表示: 第 1 巻第 1 号)

VLYR:Vol. 1, no. 1 (情報源の表示: Vol. 1, no. 1)

VLYR:Volume 1 (情報源の表示: Volume 1)

F1.2 (年月次の転記)

年月次は、対応する巻次に続けて丸がっこ(())内に記録する。転記にあたっては、数詞・数字は原則としてアラビア数字を用いる。

明治以降の元号は、頭 1 字のみに短縮する。「年・月・日」「号・版・度」など年月次の数字に付随する文字は、省略する。(NACSIS 独自規定)

欧文表記の場合は、各言語の大文字使用法に従って記録する。(→ NCR2018 付録#A.2)

月名は数字に変換せず、情報源の表示通りに記録する。

VLYR:第 1 巻第 1 号(大 1.12)-

VLYR:第 1 輯(明 41.5)-

VLYR:第 1 次(明 6.7)-第 65 次(昭 15)

VLYR:第 1 回(昭 61.2)-

VLYR:Vol. 1, no. 1 (Jan. 1996)- (情報源の表示: Jan. 1996)

VLYR:Volume 12 (1972)-volume 18 (1978)

VLYR:46 (1932)-50 (1937)

VLYR:#1 (January 1988)-#12 (December 1988) (情報源の表示: January 1996, December 1988)

VLYR:1997 (1997)-

VLYR:Volume 1 (July 7, 1967)-volume 31, no. 396 (Jan. 31, 1975)

F2 (巻次・年月次の記述)

F2.1 (初号・変遷直後号の記録)

初号・変遷直後号の巻次・年月次とハイフン (-) を記録する。

VLYR:1 集 (昭 59.5)-

VLYR:-第 240 号 (昭 18.12) ; 第 1 巻第 1 号 (昭 23.10)-

VLYR:1 (summer 1984)-

VLYR:Vol. 1, no. 1 (winter 1979/1980)-

VLYR:'96 (1996)-

F2.2 (継続刊行途中号の記録)

初号の巻次・年月次が既に記録されている場合は、何も記録しない。

F2.3 (終号・変遷直前号の記録)

ハイフン (-) と終号・変遷直前号の巻次・年月次を記録する。

VLYR:-復刊第 4 号 (昭 62.10)

VLYR:-第 132 回 (明 43.6)

VLYR:-10th ed. (1990)

VLYR:-32 Jahrgang, Nr. 12 (Dezember 1903)

VLYR:-82e session (6 février 1957)

F2.4 (初号・終号に巻次・年月次の表示がないもので推測可)

初号に巻次・年月次の表示がない場合、それに続く号で順序づけと見なせる数字・記号が出現する場合、その表示方法に従って、初号の巻次・年月次を補記することができる。

VLYR:創刊[第 1]号 (1991.3)-

VLYR:創刊準備[第 0]号 (1981.11)-

VLYR:[昭和 33 年上期 (昭 33.上期)]-

VLYR:[Bd. 1] ([1970])- (巻次・年月次ともに表示されていない。後続の号に Bd. 2, Bd. 3 の表示あり)

VLYR:[No. 1] ([1997])- (巻次・年月次ともに表示されていない。後続の号に No. 2, No. 3 表示あり)

VLYR:[Pt. 1] (1950)- (年月次だけは表示されている。後続の号に Pt. 2, Pt. 3 の表示あり)

終号に巻次・年月次の表示がない場合についても、その前の号の巻次・年月次に基づいて判断し、終号の巻次・年月次を補記することができる。

F2.5 (巻次がない場合)

巻次の表示が全く現れない場合は、年月次を代用して記録する。

() に年月次を重ねる記述文法は NACSIS 独自規定である。(途中で巻次が消滅した場合には、巻次変更の扱いを要す)

VLYR:平成元年 1 月号 (平 1.1)-

VLYR:昭和 41 年 (昭 41)-昭和 49 年 (昭 49)

VLYR:第 1 卷 (昭 40)-第 4 卷 (昭 43); 昭和 44 年 (昭 44)-

(5 卷以降には、巻次表示が現れない)

VLYR:1997 (1997)-

VLYR:'90 (1990)-

VLYR:No. 1 (1975)-no. 5 (1980); 1981 (1981)-

(No. 5 までにしか巻次表示が現れない)

F2.6 (年月次がない場合)

年月次の表示が全く現れない場合や、途中で消滅した場合には、出版年、頒布年などを補記する。

VLYR:第 28 卷第 7 号 ([平 1.3])-

VLYR:Volume 8, number 2 ([June 1995])-

VLYR:-14 ([1951])-

VLYR:1 ([1962])-28 ([1979])

F2.7 (合併号の場合)

記入すべき号が合併号である場合、合併号を一つの号であると見なし、号を切り分けては記録しない。その場合、対応する年月次間の接続記号は、スラッシュ (/) を使用する。

VLYR:昭和 34/35 年度 (昭 34/35)-昭和 63 年度 (昭 63) (情報源の表示: 昭和 34~35 年度)

VLYR:1 号 (1951.12)-149/150 号 (1989.3) (情報源の表示: 149-150 号)

VLYR:第 1 卷第 1/2 号 (平 1.4/5)- (情報源の表示: 第 1 卷第 1・2 号)

VLYR:6/7/8 号 (1964/1965/1966)- (情報源の表示: 6/7/8 号)

VLYR:Pt.100/101/102 (1961/1962/1963)-

VLYR:-56th (June 12/13/14, 1974)

VLYR:-64th/65th (1991)

VLYR:-1989/90 ed. (1989/1990)

VLYR:Volume 1, no. 1 (Jan. 1979)-volume 6, no. 5/6/7 (May/June/July 1984)

F2.8 (複数の言語表示がある場合)

巻次あるいは年月次が、複数の言語もしくは文字で表示されている場合、本タイトルの言語、もしくは文字に対応する表示のみを記録する。この規定が適用できない場合は、最初の表示を記録する。

○ VLYR:2 (May 1977)-

× VLYR:2 (May 1977) = 2 (Mai 1977)- とは記録しない。

F2.9 (単一の号しか刊行されなかった場合)

単一の号しか刊行されなかった場合は、その号が初号でありまた終号であると見なし、その号の巻次・年月次を2つ記入し、ハイフン (-) でそれらをつなぐ。(NACSIS 独自規定)

VLYR:第1号(1960.11)-第1号(1960.11)

VLYR:No. 10 (spring 1988)-no. 10 (spring 1988)

VLYR:8 (1953)-8 (1953)

VLYR:Volume 1 (1963)-volume 1 (1963)

F3 (別形式の巻次・年月次表示, その優先順位)

別形式の巻次・年月次表示が存在する場合、原則として、他の書誌データと共通する表示よりも、その書誌データに固有な表示を優先採用する。(NACSIS 独自規定)

F3.1 (タイトル変遷後の巻次)

変遷後に付与された巻次は、変遷前誌より引き継いだ巻次より優先使用する。

F3.2 (固有の巻次)

当該の逐次刊行物固有の巻次は、他の逐次刊行物と共有する巻次より優先して使用する。また、全ての部編に共通する巻次とその部編に固有の巻次とでは、その部編に固有の巻次を優先使用する。

F3.3 (2階層の巻次)

2階層の巻次(巻号表示など)は、1階層の巻次(通号表示など)より優先使用する。

VLJR:第1巻第1号(昭36.1)- = 通巻第1号(昭36.1)-
VLJR:第1巻第1号(昭36.1)-第27巻第12号(昭63.12) = 通巻第1号(昭36.1)-第324号(昭63.12)

F3.4 (複数の紀年法による年月次表示)

西暦年は和暦年に優先する。

F3.5 (非優先使用の巻次の表現)

上記の、優先して使用する巻次表示以外の表示も併記することができる。併記する場合は各方式間をスペース、等号、スペース(△=△)でつないで表示する。

VLJR:-第34巻第2号(昭59.2) = -通巻第396号(昭59.2)
VLJR:復刊第1号(昭62.1)-復刊第4号(昭62.10) = 通巻第13号(昭62.1)-通巻第16号(昭62.10)
VLJR:Vol. 15, no. 1 (Oct. 1989)- = No. 31 (Oct. 1989)-
VLJR:-1989, no. 12 (д е к а б р ь 1989) = -66 (д е к а б р ь 1989)
VLJR:1 (1903)-17 (1919) = 6 (1903)-22 (1919)

F4 (巻次変更)

巻次の取り方が変更になった場合、旧方式による初号、終号の巻次・年月次を記録したあと、スペース、セミコロン、スペース(△;△)に続いて新方式による巻次・年月次を記録する。

ただし、以下のような方法を採用する。(NACSIS独自規定)

F4.1 (優先順位が上位の表示方法が出現した場合)

VLJR:第1号(昭60.2)-第12号(昭60.12); 第1巻第1号(昭61.1)-
VLJR:-no. 72 (1975. 7); Volume 7, no. 1 (1976. 8)-
VLJR:-1969 (1969); Volume 11, no. 1 (Jan. 1970)-
VLJR:-41 Jahrgang (1991); 1992, Nr. 1 (1992)-

F4.2 (優先順位が上位の表示方法が消滅した場合)

優先順位が下位であった表現方法を繰り上げて使用する。

VLJR:第1巻第1号(平2.1)-第1巻第12号(平2.12); 第13号(平3.1)-
VLJR:-125th year, no. 3368 (Aug. 1992); No. 3369 (Sept. 1992)-
VLJR:-63 année, no 973 (décembre 1981); No 974 (janvier 1982)-

F4.3 (巻次の数字が後退, 反復, 極端に飛躍した場合)

VLYR:第1巻(平2.1)-第12巻(平2.12);第1巻(平3.1)-
VLYR:-volume 29, no. 12 (Dec. 1962); Volume 95, no. 1 (Jan. 1963)-
VLYR:-11 Jahrgang, Heft 72 (1990); 1 Jahrgang, Heft 1 (1991)-
VLYR:-Nr. 55 (1979); Nr. 1 (1980)-

このような場合, 別に書誌データを作成すべき場合もある。出版者や編集者の意図から継続関係の十分な調査が必要である。(→0.4.3B4)

F4.4 (年月次表示形式が変更の場合)

年月次の変更は巻次変更とは見なさず, 記録しない。ただし, 巻次表示がないために, 年月次を代用して巻次としている場合には, 巻次変更と同様の扱いとし, スペース, セミコロン, スペース(△;△)に続けて, 新しい年次を記録する。

年号が年次となっている場合で, 改元前と改元後の年号の双方が併記されている場合は, 原則として改元後の年号を記録する。双方が併記されている期間については, NOTE フィールドに記録する。

VLYR:-昭和64年版(昭64);平成2年版(平2)-
VLYR:-昭和64年1月1日(昭64.1.1);平成2年1月1日(平2.1.1)-
VLYR:-昭和63年/平成元年度(昭63/平1)-

F5 (巻次変更とは見なさない場合)

F5.1 (巻次の呼称の変化)

「No.」が「Vol.」に変更するなど, 単なる呼称の変化は巻次変更とはしない。

F5.2 (巻次体系の階層は変化するが, 巻レベルの数値が一貫している場合)

○ VLYR:1巻(平2.1) -
× VLYR:1巻(平2.1)-12巻(平2.12);13巻1号(平3.1) - のようには記録しない。

F5.3 (他の逐次刊行物と巻次体系を共有している場合)

他の逐次刊行物と巻次体系を共有しており, そのために巻次が不連続になる場合は, 巻次変更とはしないで, NOTE フィールドにその事実を記録する。

第一分冊が, 第1巻第1号, 第1巻第3号, 第1巻第5号 ...
第二分冊が, 第1巻第2号, 第1巻第4号, 第1巻第6号 ...

Section A が, Vol.131, 133, 135……

Section B が, Vol.132, 134, 136……

F5.4 (誤植による巻次の数値の後退, 反復, 飛躍の場合)

誤植による巻次の乱れは, 巻次変更としない。誤植の事実については, NOTE フィールドに記録する。(→ 6.2.7F3.2.4 イ)

F5.5 (巻に相当するものがなく号数のみが繰り返し反復する場合)

「巻」に相当するものがなく, 号数のみが反復する場合には, 号数が元に戻るたびに巻次変更とはせず, 適宜の巻(年次など)を補記し, 巻次が一貫するように記録する。

○ VLYR:[1990], 1 (1990.1)-[1991], 12 (1992.12)

× VLYR:1 (1990.1)-12 (1990.12); 1 (1991.1)-12 (1992.12) のようには記録しない。

F6 (逐次刊行物全体の順序づけを示す表示)

資料全体の順序づけを示す表示(「II」, 「第2次」, 「New series」, 「2nd series」など)の変更・追加は, 巻次変更とはせず, タイトル変遷と見なし, 別書誌を作成する。(NACSIS 独自規定) (→ 6.2.1F2.8)

F7 (巻次・年月次に関する注記)

巻次・年月次について説明する必要があるときは, NOTE フィールドに記録する。(→ 6.2.7F3.2.4)

NOTE:号外: 昭和 32 年 9 月, 昭和 47 年 3 月

6.2.4 PUB

6.2.4A 〔形式〕

PUB	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
(Group Field) 出版等に関する事項	必須 1	可変長		4
出版地等*1	(必須 2*2)	(可変長)	(254 バイト)	(有*4)
出版者等*1	(必須 2*2)	(可変長)	(254 バイト)	(有*4)
出版日付等*1	(必須 2*2*3)	(可変長)	(254 バイト)	(有*4)
役割表示*5	(選択)	(固定長)	(1 バイト)	(有*4)

*1 頒布地，製作地，制作地，頒布者，製作者，制作者，頒布日付，製作日付，制作日付を含む。

*2 2 番目以降の出版，頒布，製作，制作にかかるエレメントの入力レベルは「選択」である。

*3 初号または終号を所蔵する場合の入力レベルは「必須 2」である。

*4 出版地と出版者(あるいは頒布地と頒布者，製作地と製作者)との組合せが対になって一つの PUB フィールド内で複数回繰り返されることはない。そのような場合は，PUB フィールド自体を 4 回まで繰り返すことができる。

*5 出版表示にはコードを記入しない。頒布表示，製作表示，制作表示にはコードを記入する。(→ 付録 1.6 出版等に関するコード表)

6.2.4B 〔記述文法〕

記述文法については，「付録 6.3 雑誌書誌データの記述文法」を参照のこと。

6.2.4C 〔区切り記号〕

ア) 2 番目以降の出版地・頒布地等の前にはスペース，セミコロン，スペース (△;△) を置く。

イ) 出版者，頒布者の前にはスペース，コロン，スペース (△:△) を置く。

ウ) 出版年・頒布年等の前には，スペース，コンマ，スペース (△,△) を置く。

エ) 製作表示の区切り記号はア) からウ) に準拠する。

6.2.4D 〔フィールド内容とデータ要素〕

D1 (フィールド内容)

PUB フィールドでは，目録対象資料の出版表示，頒布表示，製作表示，制作表示および著作権日付を扱う。出版地・頒布地等，出版者・頒布者等，出版日付・頒布日付等をデータ要素として記録し，出版表示以外については，役割表示コードも記録する。

6.2.4E 〔データ要素の情報源〕

PUB フィールドのデータ要素の情報源は、次の優先順位で情報源を選定する。

- a) 本タイトルと同一の情報源 (6.2.1E)
- b) 資料自体の他の情報源
- c) 資料外の情報源

ただし、出版地、頒布地、製作地、制作地は、それぞれ出版者、頒布者、製作者、制作者と同一の情報源を第一の情報源として選定する。

出版日付等の情報源は初号、終号のみである。所蔵最古号や参照データの情報からは記録できない。

E1 (規定の情報源以外からの補記)

規定の情報源以外から得た情報は、角がっこ ([]) に入れて記録する。角がっこ ([]) は、データ要素をまたがった形にはしない。

○ PUB: [出版地不明] : [出版者不明] , [1976]-[1988]

× PUB: [出版地不明 : 出版者不明 , 1976-1988]

E2 (複製資料)

複製資料の PUB フィールドは、複製時の出版事項を記録し、原本に関する事項は NOTE フィールドに記録する。(→ 6.0.2 C11)

6.2.4F [データ記入及び記入例]

F1 (データ記入の原則)

出版地、頒布地、製作地、制作地は、規定の情報源において、出版者、頒布者、製作者、制作者の名称と関連して表示されている地名(市町村名等)を記録する。

出版者、頒布者、製作者、制作者は、記述対象資料の出版、頒布、発行、製作、制作などについて責任がある団体もしくは個人の名称、またはそれが識別できる表示を記録する。出版者の表示がないときは、頒布者を記録する。

出版日付等は、その逐次刊行物が完結している場合は、初号と終号の出版日付等をハイフン (-) で結んで記録する。刊行途中の場合は初号の出版日付等にハイフン (-) を付して記録する。

F1.1 (前置詞の扱い)

PUB フィールドのデータ要素の前置詞の扱い及び略語の使用は、NCR2018 #2.5.1.2 および #1.10.9 に従う。

○PUB:Paris (前置詞が格変化語尾に影響しないかぎり、付随している前置詞を省略する)

×PUB:À Paris

○PUB:Leeds : University of Leeds, Department of Spanish

×PUB:Leeds : University of Leeds, Dept. of Spanish

(情報源の表示 : University of Leeds, Department of Spanish)

(NCR2018 付録#A.3.2 に準拠し、情報源に略語が表示されている場合に限り、略語を使用する。)

F2 (出版地、頒布地等)

F2.1 (原則)

出版地、頒布地、製作地、制作地は、情報源に表示されている場所の名称(市町村名等)を、NCR2018 #1.10~#1.10.11 別法に従って記録する。

ただし、東京都特別区は、「東京」またはそれに相当する語のみ記録する。

ただし、市名は、「市」またはそれに相当する語を記録しない。

情報源に市町村名等とともに表示されている上位の地方自治体名等および(または)国名については、識別に必要なときはそれを付加する。

ただし、「日本」という国名は、原則として記録しない。

PUB:一宮町(愛知県)

PUB:一宮町(石川県)

PUB:大和町(山口県)

PUB:大和町(新潟県)

資料自体に表示がない場合に、識別またはアクセスに重要なときは、上位の地方自治体名等および(または)国名を角がっこ[]でくるんで補記する。

PUB:府中 [東京都]

PUB:府中 [広島県]

PUB:Basel [Switzerland]

PUB:Cambridge [Cambridgeshire]

F2.2 (複数言語)

出版地、頒布地、製作地、制作地が複数の言語あるいは文字で表示されている場合は、NCR2018 #2.5.1.2.2, #2.6.1.2.2, #2.7.1.2.2, #2.8.1.2.2 に従い、本タイトルと同じ言語ま

たは文字で示されているものを記録する。

これが適用できない場合は、最初に表示されているものを記録する。

F2.3 (複数の出版地等)

同一の出版者、頒布者、製作者、制作者に対して 2 箇所以上の地名が表示されている場合は、採用した情報源での表示順序、配置、デザイン等に基づいて一つを選択して記録する。

2 番目以降の出版地もスペース、セミコロン、スペース (△;△) に続けて記録することができる。

PUB:London ; Tokyo : Academic Press , 1992-

F2.4 (出版地が表示されていない場合)

出版地などが表示されていない場合については、調査もしくは推定による出版地を、角がっこ ([]) に入れて記録する。

PUB:[つくば] (参考情報源などで推定される出版地)

PUB:[北海道] (都市名が推定できない場合は、国・州・県・地方名などを記載)

PUB:[Warszawa?] (参考情報源等で推定される出版地)

PUB:[Chile?] (都市名が推定できない場合は、国・州・県・地方名などを記載)

具体的な情報が記録できない場合は、「[出版地不明]」「[Place of publication not identified]」と記録する。

PUB:[出版地不明] : [出版者不明] , [19--]

PUB:[Place of publication not identified] : [publisher not identified] , [19--]

F2.5 (架空のまたは誤った出版地)

資料自体に表示された地名が、架空であるか誤っていると判明している場合は、実際の地名を角がっこを使用して記録し、架空の地名または誤った地名は、必要があれば注記として記録する。

F2.6 (出版地の変更)

刊行途中で出版地などに変更があった場合や、その名称が変更になった場合は、その名称と変更時点の巻次・年月次を NOTE フィールドに記録する。(→ 6.2.7F3.2.5 イ)

変更が頻繁に生じている場合は、その旨を簡略に注記として記録することができる。

F3（出版者，頒布者等）

F3.1（原則）

出版者等は，記述対象資料に表示されている名称を記録する。

ただし，複数の言語あるいは文字で表示されている場合の記録については，本タイトルと同じ言語又は文字で表示されているものを記録し，該当する表示がない場合は，最初に表示されているものを記録する。

また，出版者等を識別するのに必要でない組織階層，および，出版者名に付されている法人組織を示す語などは省略する。

F3.2（複数の出版者）

出版地，出版者などが複数表示されている場合，採用した情報源での表示順序，配置，デザイン等に基づいて判断した主なものを記録する。

2番目以降の出版地，出版者などの入力レベルは「選択」である。

出版地のみ，もしくは出版者のみが複数ある場合は，フィールドの繰り返しではなく，記述文法に従って，区切り記号で一つのフィールド内に記録する。（→ F3.2.1）

出版地・頒布地と出版者・頒布者などの組合せが複数ある場合は，PUB フィールドを繰り返す。この場合，2番目の繰り返しの部分の検索キーが正しく作成されないので，必ず別フィールドに記録する。（→ F3.2.2，F3.2.3）

複数のPUBフィールドが作成された場合，それぞれの出版表示・頒布表示等に対応した日付を，該当するPUBフィールドに記録する。役割が同一のPUBフィールドが複数ある場合は，その中の最後の出版者等に続けて記録する。

F3.2.1（同一出版地の複数の出版者）

同一の出版地，頒布地に対して2以上の出版者，頒布者が表示されている場合は，採用した情報源での表示順序，配置，デザイン等に基づいて一つを選択して記録する。

または，2番目以降の出版者もスペース，コロン，スペース（△:△）に続けて記録することができる。

PUB:東京：国立大学図書館協議会東京地区協議会：東京地区国立大学図書館ネットワーク研究会

F3.2.2（複数の出版地，出版者の対がある場合）

出版地・頒布地と出版者・頒布者などが組み合わせて複数表示されている場合，記録するときはPUBフィールドを繰り返して記録し，一つのフィールドにまとめたかたちでの記録はしない。

PUB:Amsterdam：Elsevier

PUB:Tokyo : Kodansha , 1975-

F3.2.3 (出版地, 出版者と頒布地, 頒布者等)

出版地, 出版者のほかに頒布地, 頒布者および製作地, 制作者が表示されている場合, 記録するときにはフィールドを繰り返し, 当該 PUB フィールドの役割が出版以外のときは, 役割表示コードを記入する。(→付録 1.6 出版等に関するコード表)

PUB:京都 : ミネルヴァ書房 , 1990- # d

PUB:New York : Wiley # 空値

PUB:Oxford : Pergamon # d

F3.3 (出版者が表示されていない場合)

出版者が表示されていない場合について, 資料外の情報源からも特定できないときは, 「[出版者不明]」または「[publisher not identified]」と記録する。

PUB:[東京] : [出版者不明]

F3.4 (出版者・頒布者などの役割表示)

出版者・頒布者などの役割表示は, 単に出版を示すだけでない語句は, 情報源に表示されているとおりに記録する。

F3.5 (架空のまたは誤った出版者)

資料自体に表示された出版者の名称が, 架空であるか誤っていると判明している場合は, 実際の名称を角がっこを使用して記録し, 架空の名称または誤った名称は, 必要があれば注記として記録する。

F3.6 (出版者の変更)

刊行途中で出版者などに変更があった場合は, その名称と変更時点の巻次・年月次を NOTE フィールドに記録する。(→ 6.2.7F3.2.5 イ)

変更が頻繁に生じている場合は, その旨を簡略に注記として記録することができる。

F4 (出版日付等)

出版日付は, 情報源に表示されている日付の暦が西暦の場合は, アラビア数字で記録する。

情報源に表示されている日付の暦が西暦でない場合は, その日付を西暦に置き換える。漢数字, ローマ数字, 語句で表記される数字等は, アラビア数字に置き換えて記録する。

語句で表された暦は、アラビア数字に置き換える。

必要に応じ他の暦の付記，補記をする条項は採用しない。

通常は，年までのレベルで十分だが，和逐次刊行物については，必要に応じて月，日をピリオド (.) で区切って記録してもよい。

PUB:Windsor, Berkshire : Wax & Wane , 1975-

F4.1 (出版日付が年次表示と一致する場合)

出版日付と年月次の表示が全部または一部一致する場合も，これを記録する。

TR:新しい家庭科 We||アタラシイ カテイカ we

VLJR:第 1 巻第 1 号 (1982.3)-第 10 巻第 12 号 (1992.1)

PUB:調布 : ウイ書房 , 1982-1992

TR:Social history

VLJR:1 (Jan. 1976)-

PUB:London : Methuen , 1976-

F4.2 (完結した逐次刊行物)

完結した逐次刊行物の場合は，初号と終号の出版日付を記録する。

PUB:New Haven : Yale University , 1958-1973

全号が同一年に出版されている場合は，その年を記録する。

F4.3 (出版日付が不明の場合)

初号あるいは終号を所蔵していない場合は，出版日付は記録しない。

PUB:東京 : 科学新聞社 , -1991 (初号を未所蔵)

PUB:東京 : 外務省 (初号, 終号共に未所蔵)

PUB:London : Gee , -1936 (初号を未所蔵)

PUB:Tokyo : Toho Gakkai (初号, 終号共に未所蔵)

初号あるいは終号を所蔵しているが，出版日付の表示がなく不明の場合は，頒布日付，著作権日付，製作日付を補記して記録する。

著作権日付から出版日付を推定した場合は，著作権日付に対応する 4 桁の西暦年のみを [] で囲んで記録する。著作権マークの「c」は記録しない。

PUB:浦和：国際交流基金日本語国際センター，[1994]-
(情報源の表示：c1994)

出版日付，頒布日付，著作権日付，及び製作日付のいずれも表示がないか，不明のときは，推定出版日付を補記して記録する。

PUB:東京：文部省，[1951]-[1983]

PUB:東京：美術館連絡協議会，[19--]-1991

F4.4 (架空のまたは誤った出版日付)

資料自体に表示された日付が，架空であるか誤っていると判明している場合は，実際の日付を角がっこを使用して記録し，架空の日付または誤った日付は，必要があれば注記として記録する。

6.2.4G [フィールドの繰り返し]

出版地と出版者の組み合わせや出版地・頒布地と出版者・頒布者，製作地・製作者などの組み合わせが複数ある場合は，PUB フィールドを繰り返す。(→ 6.2.4 F3.2, I3)

6.2.4H (選択事項)

H1 (製作などに関する事項)

出版項目が不明の場合は，「[出版地不明]：[出版者不明]」または「[Place of publication not identified]：[publisher not identified]」と補記し，新たに別のフィールドに製作等に関する事項を記録する。その際，製作等に関する事項であることを明示するため，役割表示コード「m」を記入する。(→ 付録 1.6 出版等に関するコード表)

複数の PUB フィールドを作成した場合，それぞれの出版表示・頒布表示等に対応した日付を，該当する PUB フィールドに記録する。役割が同一の PUB フィールドが複数ある場合は，その中の最後の出版者等に続けて記録する。

PUB:[出版地不明]：[出版者不明]

PUB:東京：雄松堂フィルム出版，1964- # m

PUB:[出版地不明]：[出版者不明]

PUB:[東京]：慶応義塾経済学会 # m

6.2.4I 《注意事項》

I1 (出版地，出版者などの変更)

刊行中での出版地，出版者などの追加，変更については，その名称と変更時点の巻次・

年月次を NOTE フィールドに記録する。(→ 6.2.7F3.2.5 イ)

このような出版事項の変更は、別書誌データ作成の根拠とならない。(→ 0.4.3B5)

I2 (並行して出版している出版者)

並行して別の出版者から刊行された資料に関する事項を記録してはならない。このような場合は別書誌データを作成する。(→ 0.4.3B5)

I3 (出版地・頒布地と出版者・頒布者などの組み合わせの繰り返し)

1つの PUB フィールドに、出版地・頒布地と出版者・頒布者などの組み合わせを繰り返して記録してはならない。2番目の繰り返しの部分の検索キーが正しく作成されないので、必ず別フィールドに記録する。(→ 6.2.4 F3.2)

6.2.5 PHYS

6.2.5A 〔形式〕

PHYS	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
(Group Field) 形態に関する事項	必須 2			1
数量	(必須 2) *1	(可変長)	(254 バイト)	無
その他の形態的細目	(選択)	(可変長)	(254 バイト)	無
大きさ	(必須 2)	(可変長)	(254 バイト)	無
付属資料	(選択)	(可変長)	(254 バイト)	無

*1 資料が完結している場合、または総数が判明している場合は、コア・エレメントである。

6.2.2B 〔記述文法〕

記述文法については、「付録 6.3 雑誌書誌データの記述文法」を参照のこと。

6.2.5C 〔区切り記号〕

- ア) その他の形態的細目の前に、スペース、コロン、スペース ($\Delta : \Delta$) を置く。
- イ) 大きさの前に、スペース、セミコロン、スペース ($\Delta ; \Delta$) を置く。
- ウ) 付属資料の前に、スペース、プラス、スペース ($\Delta + \Delta$) を置く。
- エ) 付属資料の形態的細目を記録する場合は、スペース、丸括弧 ($\Delta()$) で括る。

6.2.5D 〔フィールド内容とデータ要素〕

PHYS フィールドには、目録対象資料の数量、その他の形態的細目、大きさ、及び付属資料などの情報をデータ要素として記録する。

6.2.5E 〔データ要素の情報源〕

PHYS フィールドのデータ要素の情報源は、当該出版物全体とする。(→ 6.0D2, D3)

6.2.5F 〔データ記入及び記入例〕

F1 (データ記入の原則)

キャリア種別ごとに形態的表示は異なる。目録規則の当該箇所を参照して記録する。

F2 (数量)

F2.1 (刊行中の逐次刊行物)

刊行中のものは数量を記録せず、キャリア種別の用語のみを記録する。印刷資料の場合は、キャリア種別の用語は記録せず、「冊」または「volumes」を記録する。

PHYS:冊 ; 23cm
PHYS:冊 ; 17-19cm
PHYS:volumes
PHYS:microfiches
PHYS:wall charts

F2.2 (完結した逐次刊行物)

完結した逐次刊行物については、以下のように記録する。

ア) 和逐次刊行物

キャリア種別の用語と数量をアラビア数字で記録し、それに続けて、単位名称を記録する。印刷資料の場合は、キャリア種別の用語は記録せず、数量と「冊」のみを記録する。

イ) 洋逐次刊行物

数量をアラビア数字で記録し、それに続けてキャリア種別の用語を記録する。印刷資料の場合は、キャリア種別の用語は記録せず、数量と「volumes」のみを記録する。

修正しようとする参加館が刊行された全巻（号など）を所蔵していない場合でも、VLYRフィールドに初号・終号の記録があり、途中の巻号の状況に巻の後戻りや飛躍がないことが、記録の他の部分（登録された所蔵データなど）から、十分推測される際は、数量を記録することができる。（NACSIS 独自規定）

VLYR:第1集(1959)-第5集(1963)
PHYS:5冊 ; 21cm

VLYR:Vol. 1, no. 1 (Jan. 1986)-vol. 2, no. 3 (Mar. 1987)
PHYS:2 volumes

VLYR:No. 1-no. 25
PHYS:25 volumes

VLYR:1980-1984
PHYS:4 volumes
NOTE:Annual
NOTE:Each volume issued in 2 parts
NOTE:Volume for 1981 not published

VLYR: No. 1-no. 12

PHYS:12 volumes

NOTE:No. 8/9 issued in combined form

VLYR:Volume 1-volume 142

PHYS:140 volumes

NOTE:Volumes 89 and 92 not published

PHYS:マイクロフィルム・リール 8 巻 ; 10cm , 35mm

PHYS:16 microfilm reels

PHYS:32 microfiches (3027 frames)

F3 (その他の形態的細目)

識別の基盤とした号に、図(グラフも含む)、肖像写真、地図などがあるならば、その他の形態的細目に、必要に応じて、図や色彩についての情報をデータ要素として記録することができる。識別の基盤とした号には現れないが、その後の号には一貫して、あるいは非常にしばしば現れる時も、同様に記録することができる。

ある巻のみ、あるいはある年代以降にのみ現れる(または現れない)場合は、PHYSで記録せず、必要ならNOTEフィールドに記録する。

広告ページの図などは無視する。

データ記入にあたっては、2.2.4F3.2~F3.3の規定に従う。

PHYS:volumes : illustrations, map

PHYS:1 microfilm reel : illustrations (some color)

マイクロ形態の極性等、NCR2018 #5.15 図、#5.17 色彩以外のエレメントについては、その他の形態的細目への記録は行わない。必要に応じて、NOTEフィールドに記録を行うことができる。

(極性がある場合の記録例)

NOTE:Polarity: positive

F4 (大きさ)

F4.1 (原則)

逐次刊行物の大きさは、NCR2018 の#2.18 の指示に従って記録する。

冊子の場合は、資料の外側の寸法をセンチメートルの単位で、端数を切り上げて記録する。
2点以上の部分からなる、大きさの異なる資料は、最小のものと最大のものをハイフンで結んで記録する。

PHYS:冊 ; 22cm

PHYS:20 冊 ; 26 × 37cm

PHYS:volumes : illustrations ; 20 × 8 cm

PHYS:108 volumes : illustrations ; 20 × 32 cm

PHYS:100 冊 ; 20-32cm

PHYS:100 volumes : illustrations ; 25-28 cm

PHYS:マイクロフィルム・リール 2 巻 ; 35mm

PHYS:filmstrips : color ; 35 mm

PHYS:1 microfilm reel ; 13 cm, 35 mm

F5 (付属資料)

F5.1 (原則)

定期的刊行を意図し、かつ逐次刊行物本体と組み合わせて使用することを意図したすべての資料（本体 + カセット・本体 + CD-ROM・本体 + マイクロフィルム・本体 + Directory・本体 + 解答集など）は、キャリア種別ごとに、キャリア種別と数量を記録し、必要に応じてその他のエレメントも対応させて記録する。必要に応じて付属資料自体の形態に関する事項を付記してもよい。

PHYS:5 冊 ; 27cm + コンピュータ・ディスク枚

PHYS:冊 ; 28cm + オーディオカセット巻

PHYS:volumes : illustrations ; 21 cm + slides

機器種別が「機器不用」の資料が付属資料の場合は、キャリア種別は記録せず、必要に応じて数量およびその他のエレメントを対応させて記録する。

PHYS:7 冊 ; 22cm + 別冊 (21p ; 22cm)

付属資料の刊行頻度については、NOTE フィールドに記録する。(→ 6.2.7F3.5.1)

6.2.6VT

6.2.6A〔形式〕

VT (Group Field)	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
その他のタイトル	選択	可変長		16
タイトルの種類	(必須1)	(固定長)	2バイト	(1)
タイトル	(必須1)	(可変長)	(1024バイト)	(1)
タイトルのヨミ*1	(必須2)	(可変長)	(1024バイト)	(1)
タイトルのその他のヨミ	(必須2)	(可変長)	(1024バイト)	(2)

*1 タイトルのヨミは、和資料および洋資料でタイトル中に日本語が現れた場合などに記録する。

6.2.6B〔記述文法〕

記述文法については、「付録 6.3 雑誌書誌データの記述文法」を参照のこと。

6.2.6C〔区切り記号〕

ア) タイトルの種類コードと、タイトルの中に、コロン (:) を置く。

イ) タイトルのヨミを記録する場合は、ヨミの直前に、ストローク、ストローク (||) を置く。

ウ) タイトル関連情報等や、その他のヨミを伴う場合は、TR フィールドの記述文法に準じて展開する。

6.2.6D〔フィールド内容とデータ要素〕

D1 (フィールド内容)

VT フィールドには、TR フィールドに記録するタイトル以外の「その他のタイトル」を記録する。VT フィールドは、目録対象資料の「その他のタイトル」による検索等を可能にするために設けられたフィールドである。

「その他のタイトル」に該当するのは、次のタイトルである。

1. キー・タイトル、略タイトル
2. 目録対象資料中に表示されているタイトルのうち、TR フィールドに記録されない形
3. 発見・識別に必要な場合に目録担当者が作成するタイトル

D2 (データ要素)

VT フィールドのデータ要素は、タイトルの種類、タイトル、タイトルのヨミ、およびタイトルのその他のヨミである。

ア) タイトルの種類には、タイトルの情報源、タイトルの種類等を示す 2 桁のコードを記録する。

イ) タイトルには、当該タイトルを記録する。

ウ) タイトルのヨミ、タイトルのその他のヨミには、必要に応じて、当該タイトルのヨミ、その他のヨミを記録する。

タイトルの種類には、以下のものがある。(→ 付録 1.4 タイトルの種類コード表)

(D1 の種別におけるコードのアルファベット順)

1. キー・タイトル、略タイトル

AB:略タイトル (abbreviated title)

KT:キー・タイトル (key title)

2. 目録対象資料中に表示されているタイトルのうち、TR フィールドに記録されない形

AT:副タイトル・ページ・タイトル (added title page title)

BC:裏表紙タイトル (back cover title)

CL:奥付タイトル (colophon title)

CP:キャプション・タイトル (caption title)

CV:表紙タイトル (cover title)

DT:識別タイトル (distinctive title)

LT:後続タイトル (later title proper)

MT:マストヘッド・タイトル (masthead title)

OH:その他のタイトル (other title)

OR:原タイトル (original title)

PT:親書誌タイトル (parent title)

RT:欄外タイトル (running title)

ST:背表紙タイトル (spine title)

TT:タイトル・ページ・タイトル (title page title)

3. 発見・識別に必要な場合に目録担当者が作成するタイトル

RM:ローマ字翻字タイトル (romanized title)

TL:翻訳タイトル (translation of title by cataloging agency)

VT:異なりアクセスタイトル (variant access title)

後続タイトルは、複数巻単行資料の本タイトルが変化した場合、または逐次刊行物の本タイトルに軽微な変化があった場合の変化後の本タイトルであり、識別またはアクセスに重要な場合に記録する。

6.2.6E [データ要素の情報源]

VT フィールドのデータ要素の情報源は、当該出版物を含むあらゆるところから採用できる (→6.0D2, D3)。

ただし、後続タイトルについては、変化前の本タイトルを採用した情報源と対応する後続の巻号の情報源を、キー・タイトルについては、ISSN レジスターを、それぞれ第一の情報源として選定する。

6.2.6F [データ記入及び記入例]

F1 (データ記入の原則)

F1.1 (初号もしくは所蔵最古号の場合)

「その他のタイトル」が初号もしくは(識別の基盤とした)所蔵最古号に表示されている場合、タイトルの表示箇所に関わるタイトルの種類コードと共に VT フィールドに記録する。

TR:愛媛法学会雑誌 / 愛媛大学法学会 [編]||エヒメ ホウガツカイ ザッシ
VT:BC:Ehime law review (裏表紙タイトル)

TR:Critical reviews in biochemistry
VT:CV:CRC critical reviews in biochemistry (表紙タイトル)

F1.2 (初号もしくは所蔵最古号以外の場合)

「その他のタイトル」が初号もしくは(識別の基盤とした)所蔵最古号以降の号に表示されている場合、タイトルの表示箇所に関わらず、タイトルの種類コード(OH)と共に VT フィールドに記録する。タイトルの表示箇所に関係するコード(AT, BC, CL, CP, CV, MT, RT, ST, TT)は使用しない。

さらに、そのタイトルの表示巻次・年月次・箇所についての説明を NOTE フィールドに記録する (→6.2.7 F3.2.1 カ)

TR:コンクリートブロック / 日本コンクリートブロック協会 [編集]||コンクリートブロッ

ク

VT:OH:月刊コンクリートブロック||ゲッカン コンクリート ブロック

NOTE:奥付タイトル: 月刊コンクリートブロック (第 162 号 (1997.3)-)

TR:Japan film guide

VT:OH:JFG

NOTE:Cover title: JFG (volume 10 (1988)-)

F2 (合冊誌の場合)

合冊誌に収録されている逐次刊行物の総合タイトルは、タイトルの種類コード (OH) と共に VT フィールドに記録し、同時に NOTE フィールドに記録する。(→ 6.2.7F3.4)

F3 (巻のタイトル・ページ、製本用タイトル・ページの場合)

初号の情報源は、その後で付与された巻のタイトル・ページ (製本用タイトル・ページ) より優先する。この場合、巻のタイトル・ページに記録されたタイトルは、タイトルの種類コード (OH) と共に VT フィールド及び NOTE フィールドに記録する。タイトルの種類コード (CV, ST) は使用しない。(→ 6.2.7 F3.2.1 カ)

TR:形成外科||ケイセイ ゲカ

VT:OH:形成美容外科||ケイセイ ビヨウ ゲカ

NOTE:巻のタイトル・ページ・タイトル: 形成美容外科

TR:Journal des débats : politiques et littéraires

VT:OH:Revue hebdomadaire du journal des débats

VT:OH:Édition hebdomadaire du journal des débats

NOTE:Title page for binding: Revue hebdomadaire du journal des débats, <1er semestre 1909->; Édition hebdomadaire du journal des débats, <1er semestre 1922->

F4 (簡略形と展開形)

優先情報源中にタイトルの簡略形が表示され、それ以外の箇所にもその展開形が表示されている場合、またはその逆の場合、タイトルの表示箇所に関わるタイトルの種類コードと共に VT フィールドに記録する。

TR: 北海道大学文学研究科紀要 / 北海道大学文学研究科 [編]||ホッカイドウ ダイガク
ブンガク ケンキュウカ キヨウ

VT:RT:北大文学研究科紀要||ホクダイ ブンガク ケンキュウカ キヨウ (欄外タイトル)

TR:ATI

VT:CV:America's textiles international (表紙タイトル)

F5 (共通タイトル)

F5.1 (優先情報源以外に存在する共通タイトル)

共通タイトルが優先情報源以外の箇所に表示されている場合、タイトルの種類コード (PT) とともに VT フィールドに記録する。

TR:Philologica

VT:PT:Acta Universitatis Carolinae

F5.2 (不安定な共通タイトル)

共通タイトルが従属タイトルと同じ情報源にあたりなかったり、号によって表現がまちまちだったりなど不安定な場合、タイトルの種類コード (PT) と共に VT フィールドに記録する。

TR:くらしのサイエンス / 酪農学園短期大学酪農学校 [編] || クラシノサイエンス

VT:PT:近代酪農. 別冊 || キンダイラクノウ. ベッサツ (親書誌タイトル)

F6 (本タイトルの変化)

F6.1 (本タイトルに軽微な変化があった場合)

本タイトルに軽微な変化があった場合、タイトル変遷とはせず、識別またはアクセスに重要な場合に、変化後の本タイトルを後続タイトルとして記録する。後続タイトルは、VT フィールドにタイトルの種類コード (LT) を付与して記録し、併せて NOTE フィールドに変化のあった巻次・年月次を記録する。(→ 6.0.1 A1.2, 6.2.7 F3.2.1 イ)

TR:Outline of Japanese tax

VT:LT:An outline of Japanese taxes

NOTE:Later title proper: An outline of Japanese taxes, no. 134 (1990)-

TR:Schriften des Vereins für Socialpolitik

VT:LT:Schriften des Vereins für Sozialpolitik

NOTE:Later title proper: Schriften des Vereins für Sozialpolitik, Band 134 (1990)-

F6.2 (本タイトル中の文字の字体が変更された場合)

本タイトル中の文字の字体が変更された場合、タイトル変遷とはせず、識別またはアク

セスに重要な場合に、VT フィールドにタイトルの種類コード (OH) を付与して記録し、併せて NOTE フィールドに変更された巻次・年月次を記録する。(→ 6.2.7 F3.2.1 イ)

TR:看護学雑誌 / 医学書院 [編]||カンゴガク ザッシ

VT:OH:看護学雑誌||カンゴガク ザッシ

NOTE:本タイトルの字体変更:看護学雑誌 (-第 25 巻第 12 号 (1961.12))→看護学雑誌 (第 26 巻第 1 号 (1962.1)-)

F7 (別言語・別文字タイトル)

F7.1 (本タイトルと意味的に対応し、優先情報源に表示されている場合)

別言語・別文字タイトルが複数表示されている場合、TR フィールドに記録しなかった並列タイトルは、タイトルの表示箇所に関わるタイトルの種類コードと共に VT フィールドに記録することができる。

F7.2 (本タイトルと意味的に対応しているが、優先情報源以外の箇所に表示されている場合)

優先情報源以外の箇所に表示されている別言語・別文字タイトルは、並列タイトルではなく「その他のタイトル」と見なし、表示箇所に応じたタイトルの種類コードを付与し、VT フィールドに記録する。

F7.3 (本タイトルと意味的に対応していない場合)

本タイトルと意味的に対応していない別言語・別文字タイトルは、TR フィールドのタイトル関連情報として扱う (→ 6.2.1 F4)

F8 (その他のタイトルに関わる責任表示)

「その他のタイトル」に関わる責任表示 (責任表示の異形) は、このフィールドには記録しない。記録が必要な場合には、NOTE フィールドに記録するか、当該著者名典拠データの SF フィールドに記録する。(→ 6.2.7 F3.2.2 ウ)

F9 (複数のタイトルの種類コードに該当する場合)

同一の形のタイトルが、複数のタイトルの種類コードに該当する場合、以下の優先順位を適用する。

F9.1 (該当する場合最優先で必ず記録するもの)

この中で重複する場合は、VT フィールドを追加して全て記録する。

AB (略タイトル), KT (キー・タイトル), DT (識別タイトル), OR (原タイトル),

PT (親書誌タイトル)

F9.2 (該当する場合選択して記録するもの)

この中で重複する場合は、以下の優先順位で選択して記録する。優先順位が低く、VT フィールドに記録しなかったものは、NOTE フィールドに記録してもよい。

和逐次刊行物については、以下の優先順位に従う。

BC (裏表紙タイトル) > TT (タイトル・ページ・タイトル) > MT (マストヘッド・タイトル) > ST (背表紙タイトル) > CL (奥付タイトル) > AT (副タイトル・ページ・タイトル) > CP (キャプション・タイトル) > RT (欄外タイトル)

洋逐次刊行物については、以下の優先順位に従う。

CV (表紙タイトル) > BC (裏表紙タイトル) > CP (キャプション・タイトル) > MT (マストヘッド・タイトル) > CL (奥付タイトル) > ST (背表紙タイトル) > AT (副タイトル・ページ・タイトル) > RT (欄外タイトル)

F9.3 (以上のどれにも該当しないもの)

上記のものと重複しない場合、以下のうちの該当するものを選択して記録する。

OH (その他のタイトル), TL (翻訳タイトル), RM (ローマ字翻字タイトル),
VT (異なりアクセスタイトル)

F10 (ヨミの記録)

タイトル中に、日本語などヨミによる検索が必要なものが現れた場合は、「目録情報の基準」11.3 (ヨミの表記及び分かち書き規則) 及び TR フィールドの「タイトルのヨミ、タイトル関連情報のヨミ」に従って、ヨミを記録する必要がある。この場合の記述文法については、雑誌書誌データの記述文法に従う。(→ 6.2.1F8)

6.2.6G [フィールドの繰り返し]

「その他のタイトル」が複数ある場合は、VT フィールドをその数だけ繰り返し、それぞれのタイトルを記録する。

6.2.6H 《注意事項》

H1 (「その他のタイトル」が複数ある場合)

1つの VT フィールドに複数の「その他のタイトル」を記録してはならない。

H2 (記述文法)

タイトルの種類とタイトル間のコロン (:) の前後にスペースを記録してはならない。

H3 (優先情報源上に表示されたタイトル)

和逐次刊行物では、表紙が TR フィールドに記録するデータの情報源として最も優先順位が高いので、表紙タイトル (cover title) 種類コード (CV) は、原則として使用することはない。表紙に表示されている複数の並列タイトルのうち、TR フィールドに記録しなかった並列タイトルに限り使用する場合がある。

洋逐次刊行物では、タイトル・ページが TR フィールドに記録するデータの情報源として最も優先順位が高いので、タイトル・ページ・タイトル (title page title) の種類コード (TT) は、原則として使用してはならない。タイトル・ページに表示されている複数の並列タイトルのうち、TR フィールドに記録しなかった並列タイトルに限り使用することができるものとする。

H4 (統一タイトル)

統一タイトル (uniform title) の種類コード (UT) は、逐次刊行物書誌データでは使用しない。

6.2.7 NOTE

6.2.7A〔形式〕

NOTE	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
注記	選択	可変長		16
表現種別・機器種別・キャリア種別に関する注記	必須1	可変長	(1024 バイト)	
その他の注記	選択	可変長	(1024 バイト)	

6.2.7B〔記述文法〕

記述文法については、「付録 6.3 雑誌書誌データの記述文法」を参照のこと。

6.2.7C〔区切り記号〕

ア) 一つの NOTE フィールド中に複数のデータ要素を記録する必要がある場合は、各注記の前に、和逐次刊行物は、ピリオド、スペース、ハイフン、ハイフン、スペース (.△--△)、洋逐次刊行物は、セミコロン、スペース (;△) を置く。

イ) 注記の導入語句と注記本体の間に、コロン、スペース (:△) を置く。

6.2.7D〔フィールド内容とデータ要素〕

NOTE フィールドには、目録対象資料に関する注記をデータ要素として記録する。記録されるデータ要素には次のものがある。

ア) 他のどのフィールドにも記録できないが、記録しておくことが望ましいと目録作成機関が判断した事項

イ) 他のフィールドに記録した事項で、更に補足・説明を加えることが望ましいと目録作成機関が判断した事項

ただし、ID&コードブロックに記録したデータ及び VT フィールドに LT、OH 以外のタイトルの種類コードを付して記録したデータを、このフィールドで重ねて説明する必要はない。

また、ある特定の機関のみが所蔵している資料に固有の事項については、このフィールドに記録してはならない。必要に応じて、所蔵データの CPYNT フィールドや LDF フィールドに記録する。

6.2.7E〔データ要素の情報源〕

NOTE フィールドのデータ要素の情報源は、当該出版物を含むあらゆるところから採用できる。(→ 6.0D2, D3)

ただし、キャリアに関する情報については、資料自体に基づいて記録する。さらに必要がある場合は、資料外のどの情報源に基づいて記録してもよい。

6.2.7F〔データ記入及び記入例〕

F1（データ記入の原則）

F1.1（定型注記）

NOTE フィールドに記録する注記には、導入語句を伴う定型注記と、それ以外の注記とがある。定型注記の場合は、導入語句と注記の間には、コロン、スペース (:△) を置く。

TR:神学ダイジェスト / 上智大学神学部神学ダイジェスト研究会 [編]||シンガク ダイジェスト

NOTE:別冊:「総索引」1号-70号

TR:American anthropologist / American Anthropological Association

NOTE:Indexes: Vols. 1 (1935)-30 (1965) 1 volume

F1.2（注記の順序）

NOTE フィールドに記録する注記には、本システムに特有なものと、NCR2018 で示されたものがある。複数の注記を記録する場合は、本システム特有の注記を最初の NOTE フィールドに記録する。それ以外の注記は、その後に、NCR2018 の属性の要素に関する注記、属性の要素を記録する注記、関連を記録する注記を章立ての順に従って記録し、続けて、その他の注記を記録する。ただし、ある特定の注記を最重要であると決めて、それを最初に記録してもよい。なお、本システム特有の注記が複数ある場合は、F3.1 で示されている順序に従う。

F2（本システム特有の取り扱いをするもの）

以下に示すものについては、本システム特有の取り扱いをする。

F2.1（タイトル変遷についての注記）

他の逐次刊行物との関連のうち、次に示すタイトル変遷に該当する項目については、各参加組織からの「変遷注記用データシート」による報告に基づき、国立情報学研究所（NII）が BHNT フィールドに記録する。（→ 6.3.2）

- a) …の継続
- b) …に継続
- c) 合併
- d) 分離

e) 吸収

ただし、国立情報学研究所（NII）によって BHNT フィールドが記録されるまでの間、補助的に NOTE フィールドにタイトル変遷による注記を記録することができる。（→ F3.4）

NOTE:継続前誌: ドクメンテーション研究

NOTE:派生後誌: 中央大学理工学部研究報告. C, 電気

F3（注記の種類）

主として以下の項目について記録する。

F3.1（本システム特有の注記）

ア) 表現種別・機器種別・キャリア種別に関する注記

表現種別とは、表現形の内容を表現する基本的な形式を示す用語、機器種別とは、記述対象の内容を利用（表示、再生、実行など）するために必要な機器の種類を示す用語、キャリア種別とは、記述対象の内容を記録した媒体およびその形状を示す用語である。

これらは NCR2018 においてはそれぞれ独立したエレメントであるが、本システムにおいては、表現種別・機器種別・キャリア種別の用語をひとつの NOTE フィールドにともに記録する。

用語は、それぞれ NCR2018 表 5.1.3 表現種別の用語、表 2.15.0.2 機器種別の用語、表 2.16.0.2 キャリア種別の用語から選択する。目録用言語として英語を用いる場合は、表中の英語の用語を用いる。

記録に際しては、表現種別の用語に続けて「△(ncrcontent)」、機器種別の用語に続けて「△(ncrmedia)」、キャリア種別の用語に続けて「△(ncrcarrier)」の語を付加する。

NOTE:表現種別: テキスト (ncrcontent), 機器種別: 機器不用 (ncrmedia), キャリア種別: 冊子 (ncrcarrier)

NOTE:Content Type: text (ncrcontent), Media Type: unmediated (ncrmedia), Carrier Type: volume (ncrcarrier)

イ) 識別の基盤とした巻号についての注記

初号以外の号に基づいて書誌を記述した場合、その巻号の巻次・年月次について記録する。

NOTE:記述は第 4 巻第 1 号（昭 58.1）による

NOTE:Description based on: Vol. 3, no. 3 (May/June 1975)

ウ) 仮登録雑誌についての注記

新規の予約雑誌で、資料現物が届いていないため、販売カタログ等に基づいて書誌を記述した場合、その書誌データが仮登録雑誌（予約雑誌）であることを記録する。
(NACSIS 独自規定) (→ 6.0D4)

仮登録雑誌についての注記は、洋雑誌書誌データについても日本語で記録する。

NOTE:仮登録雑誌

F3.2 (属性のエレメントに関する注記)

F3.2.1 (タイトルに関する注記)

ア) 本タイトルの情報源箇所についての注記

目録対象資料に、6.2.1E で規定する情報源のうち、優先度が最も高い情報源（和逐次刊行物は表紙、洋逐次刊行物はタイトル・ページ）がない、または当該情報源に本タイトルがないため、その他の情報源箇所から本タイトルを採った場合は、その情報源箇所について記録する。

NOTE:タイトルは標題紙による

NOTE:タイトルは背と奥付による

NOTE:Title from cover

NOTE:Title from spine

イ) 本タイトルの軽微な変化についての注記

1. 刊行途中で本タイトルに軽微な変化があり、識別またはアクセスに重要と判断される場合に、後続タイトルとして VT フィールドに記録した際は、NOTE フィールドに変化のあった巻次・年月次を記録する。(→6.2.6 F6.1)

NOTE:後続タイトル: 少女倶楽部 (-第 24 巻第 3 号 (昭 21.3))→少女クラブ (第 24 巻第 4 号 (昭 21.4)-)

NOTE:Later title proper: Social science information, vol. 6 (1967)-

2. 本タイトルの変化について、それが頻繁に生じている場合や、識別またはアクセスに重要でないと判断される場合に、後続タイトルとして記録しなかったときは、必要に応じて異形タイトルとして記録した上で、変化のある旨を簡略に記録することができる。

NOTE:本タイトルの字体変更: 日本國勢圖會 (-昭和 25 年版 (昭 25))→日本國勢図會 (昭和 27 年版 (昭 27)-)

NOTE:本タイトルは「ショートストーリーなごや」のこともあり

ウ) 並列タイトルについての注記

1. 初号または識別の基盤とした号以降に現れた並列タイトル・並列タイトル関連情報について、対応する巻次・年月次とともに記録する。

NOTE:並列タイトル(第5巻第1号(1988)-): Bone metastasis and related disease

NOTE:Volumes for no. 34 (1980)- have parallel title: Journal of geological science.
Geology

2. 刊行途中での並列タイトル・並列タイトル関連情報の変更または削除について、変化があった巻次・年月次とともに記録する。

NOTE:並列タイトル変更: The Eastern Japan journal of clinical orthopaedics (第2巻第1号(1990.3)-)

NOTE:Parallel title varies: Praci-bhasha-vijnan, vol. 1, no. 2 (July/December 1974)-

NOTE:英語の並列タイトル関連情報は15号まで表示あり

エ) タイトル関連情報についての注記

1. 初号または識別の基盤とした号以降に現れたタイトル関連情報について、対応する巻次・年月次とともに記録する。

NOTE:タイトル関連情報: リウマチの外科研究会誌(第22巻第1号(1995.6)-)

NOTE:タイトル関連情報: 隔月刊くみあい(No. 26(1990.6)-)

NOTE:Other title information: theoretical and experimental, volume 28 (January/June 1970)-

NOTE:Other title information in vol. 33, no. 3 (March 1993): the journal of the American Association of Blood Banks

2. 刊行途中でのタイトル関連情報の変更または削除について、変化があった巻次・年月次とともに記録する。

NOTE:タイトル関連情報の変更: 糖尿病医療スタッフのプラクティス(第6巻第3号(1989)-)

NOTE:Other title information varies: an interdisciplinary monthly of language studies, vol. 15, no. 1 (January 1991)-

NOTE:タイトル関連情報の削除(Vol. 2(2013.7.20)-)

オ) 目録対象資料中に表示されていない翻訳の原本についての注記

当該逐次刊行物が以前に出版された逐次刊行物の翻訳である場合、目録対象資料以外の情報源から得られた原本のタイトルについて記録する。

NOTE:原タイトル: Economic and social survey of Asia and Pacific

NOTE:Translation of: О к е а н о л о г и я

カ) 「その他のタイトル」についての注記

1. 複数の箇所に表示されている、同一の形の「その他のタイトル」について、VT フィールドに記録しなかった表示箇所を記録する。

NOTE:タイトル・ページ, 奥付のタイトル: 東京電機大学理工学部紀要

NOTE:Cover title, running title and spine title until vol. 15, issue 4 (1989): CRC critical reviews in solid state and materials science

2. 識別タイトルが多数ある場合、その旨記録する。

NOTE:各号に個別のタイトルあり

NOTE:Each issue has a distinctive title

3. 初号または識別の基盤とした号以降に現れたその他のタイトルについて、必要に応じて、タイトルの種類コード (OH) を付して記録することができる。その際は、必ず「その他のタイトル」のタイトルとその性格、表示巻次・年月次、表示箇所について記録する。
(→ 6.2.1F1.1)

NOTE:裏表紙タイトル: Studies in philosophical anthropology (No. 22 (1992)-)

NOTE:背表紙タイトル: 建設月報 (第 43 巻第 1 号 (1990.1)-)

NOTE:Cover title: Skating magazine, volume 59, no. 8 (October 1982)-volume 63, no. 3 (March 1986)

NOTE:Vol. 60 (1991) has spine title: Town & country planning

F3.2.2 (責任表示についての注記)

ア) 初号または識別の基盤とした号以降に現れた責任表示について、対応する巻次・年月次とともに記録する。

NOTE:責任表示追加: 宮城県産地魚市場協会 (昭和 53 年-)

NOTE:Volumes for 1988/89- prepared with the Bureau of Registration and Health Statistics

イ) 刊行途中での責任表示の変更について、変更があった巻次・年月次とともに記録する。変化が頻繁に生じている場合は、変化のある旨を簡略に記録することができる。

NOTE:責任表示の変更: 東洋大学経済学界 (-第 26 号 (1961.6))→東洋大学経済研究所 (第 27 号 (1962.6)-)

NOTE:Prepared by: Iowa State University of Science and Technology, vol. 14, no. 1 (July 1959)-

NOTE:Prepared by: 1972 by Program Division. Chemicals Branch, Dept. of industry. Trade and Commerce; 1973-1979 by Special Projects Division. Chemicals Branchindustry. Trade and Commerce

NOTE:編者の変更あり

ウ) 「その他のタイトル」に関わる責任表示等、責任表示の異形について記録する。

NOTE:On cover: Dept. of the Environment

エ) 記述の他の項目では略語形のみで記録されている責任表示について、その完全形を記録する。

NOTE:Full name of the institute: Institution of the Rubber Industry

オ) 当該書誌の識別のために重要と考えられる個人編者について記録する。

NOTE:個人編者: 内村鑑三

NOTE:主筆: 宮武外骨

NOTE:Editor: 1993-1994, Robert H. Blissmer

F3.2.3 (版表示についての注記)

版表示に表現上の変化があった場合、変化があった巻次・年月次とともに記録する。
(→ 6.0.1A5, 6.2.2H1)

NOTE:版表示の表現上の変化: 中日文版 (-第 26 巻第 8 期 (2001.8))→中国語・日本語版 (第 26 巻第 9 号 (2001.9)-)

NOTE:Edition statement varies: International edition in English, -1997; International edition, 1998-)

F3.2.4 (順序表示についての注記)

ア) VLYR フィールドに記録しなかった別形式の巻次・年月次や、巻次・年月次として明記しなかった表示について記録する。

NOTE:通号表示併記: 第 34 巻第 1 号は通号第 125 号にあたる

NOTE:Volume 1- called also volume 11- continuing of the numbering of the previous title

NOTE:Vol. 1, no. 5 (summer 1990) called also "Special issue"

イ) 変則的または特異な番号付け、誤植による重複、欠番について記録する。

NOTE:誤植: 第 35 巻第 4 号の表紙に第 35 巻第 3 号と誤植

NOTE:欠番: 第 333 号

NOTE:Volume 158, no. 7-volume 159, no. 6 omitted in numbering

NOTE:Vol. 9, no. 7 called vol. 9, no. 8 in error

ウ) 年刊またはそれより刊行頻度の少ない刊行物で、巻や号の対象としている期間が暦年以外の場合、その期間について記録する。

NOTE:各巻の収録内容は 9 月～8 月

NOTE:Report covers fiscal year

NOTE:Each issue covers: July 1-June 30

エ) 休刊の事実について記録する。

NOTE:休刊: 1993.4-1995.9

NOTE:Suspended August 1940-December 1942

オ) 初号および（または）終号を入手していない場合などに、他の情報源で確認できた巻次、年月次を逐次刊行物の順序表示の要素として記録しないときは、初号および（または）終号の巻次、年月次を記録する。

F3.2.5 (出版表示等についての注記)

ア) 初号または識別の基盤とした号以降に現れた出版地・出版者等について、対応する巻次・年月次とともに記録する。

NOTE:出版者追加: 日本関税協会 (No.132 (昭 62.4)-)

NOTE:Vol. 3 (1987) published with Butterworths, London

イ) 刊行途中での出版地・出版者等の変更について、変更があった巻次・年月次とともに記録する。

NOTE:出版地変更: 小金井 (-第 2 号 (平 6.12))→東京 (第 3 号 (平 7.4)-)

NOTE:出版者変更: JICC 出版局 (-第 2 巻第 4 号 (1993.4))→宝島社 (第 2 巻第 5 号 (1993.5)-)

NOTE:Volume 5 (1965)- published: Basel : S. Karger, [1965]-

ウ) 当該逐次刊行物の出版等に関する特徴的または変則的な事柄について記録する。

NOTE:出版地は開催のたびに変更

NOTE:Imprint varies

NOTE:Not published 1994

エ) 資料に表示された出版地、出版者等の名称、出版日付等が架空であるか誤っていると判明し、実際の情報を出版表示等のエレメントとして記録した場合は、架空のまたは誤った表示を記録する。

F3.2.6 (刊行頻度についての注記)

ア) 刊行頻度に変更があった場合、各刊行頻度が保持されていた期間について変更があった巻次・年月次と共に記録する。変化が頻繁に生じている場合は、変化のある旨を簡略に記録することができる。

NOTE:刊行頻度の変更: 月刊, 第 379 号 (1979.11)-第 562 号 (1995.3)→隔月刊, 第 563 号 (1995.5)-

NOTE:Quarterly, 1948-1952; bimonthly, 1953-1973; quarterly, 1974-

NOTE:刊行頻度の変更あり

NOTE:Frequency varies

イ) 刊行頻度の定期性が「規則的不定期」であるものの場合、実際の刊行形態について記録する。

NOTE:月刊 (8-9 月は刊行せず)

NOTE:Monthly (except June and July)

F3.2.7 (形態に関する事項についての注記)

ア) PHYS フィールドに記録しなかった、必要な形態的細目を記録する。

NOTE:Some volumes illustrated

イ) 逐次刊行物の途中の巻号で生じた、大きさの変化について記録する。変化が頻繁に生じている場合は、変化のある旨を簡略に記録し、個々の変化については記録を省略してもよい。

NOTE:大きさの変化: 26cm (-第 49 巻第 12 号 (2002.12))→30cm (第 50 巻第 1 号 (2003.1)-)

NOTE:大きさは 20-26cm の範囲で号ごとに異なる

NOTE:大きさの変更あり

NOTE:Size varies

F3.2.8 (言語についての注記)

言語コードで記録したフィールドのデータに更に補足を加えることが望ましい場合、記録する。

NOTE:本文は英文併記

NOTE:本文は日本語または英語; 抄録は英語

NOTE:Text in English; summaries in Russian

NOTE:Text in English and French; French text on inverted pages

F3.3 (属性のエレメントを記録する注記)

基底材、制作手段など NCR2018 の属性のエレメントを記録する注記はエレメント名を導入語句とし、定められた用語をコロン、スペースを置いて記述する。

NOTE:制作手段: 青焼き

NOTE:Polarity: negative

F3.4 (関連を記録する注記)

関連とは、資料、個人・家族・団体、主題の間に存在する様々な関係性のことである。

体現形データの NOTE フィールドには、NCR2018 # 43 (資料に関するその他の関連) のうち、他のフィールドに記録できない関連の情報について、必要に応じて、構造記述または非構造記述の形式で記録することができる。

ア) 著作間の関連

著作間の関連については、著作単位のデータを作成しないため、必要に応じて、関連先となる著作を識別できる情報を体現形のデータに記録することができる。

このうち、タイトル変遷（連続の関連）についての情報は、体現形データの BHNT フィールドに記録し、NOTE フィールドには記録しない。ただし、BHNT に登録される前は、NOTE フィールドに記録することができる。（→ F2.1）

イ) 表現形間の関連

表現形間の関連については、表現形単位のデータを作成しないため、必要に応じて、関連先となる表現形を識別できる情報を体現形のデータに記録することができる。

表現形と別の著作との関連は、著作間の関連として扱う。

NOTE:翻訳の対象: Machine design. -- Cleveland, Ohio : Penton, 1929-

(関連元 : Penton's machine design / インタープレス [編]. -- Japanese [edition]. -- 東京 : インタープレス, 1975-1980)

NOTE:"Machine design (1929-)" by Penton (Cleveland, Ohio)の翻訳誌

ウ) 体現形間の関連

他のフィールドに記録されない体現形間の関連について、必要に応じて、関連先となる体現形を識別できる情報を記録することができる。

体現形と別の体現形の個別資料との関連は、個別資料間の関連として扱う。

1. 複製版についての注記

a) 複製時に付与されたタイトルについて記録する。合刻複製版の総合タイトルについても記録する。

NOTE:復刻のタイトル: 同胞

NOTE:合刻複製版の総合タイトル: 新都市

NOTE:Reprint has title: The law reports of British India

NOTE:Collective title of reprint: Euphorion

b) 合刻複製版については、ともに合刻されている逐次刊行物のタイトルについて記録する。

NOTE:「海の銃後」「海の勇士慰問文集」の各復刻版と合冊

NOTE:Reprinted with: Vida mexicana

c) 原本の版表示、出版事項、刊行頻度、ISSN 等の書誌事項について記録する。

NOTE:複製の対象 (体現形): 京都の實業 = The monthly report of Kyoto Chamber of Commerce. -- 京都 : 京都商業會議所, 1920-1930

NOTE:Reproduction of (manifestation): Matematisk tidsskrift. -- Kjøbenhavn : K. Schönbergs, 1859-1864

NOTE:原本の出版事項: 京都 : 京都商業會議所, 1903-1919

NOTE:Reprint. Originally published monthly: Boston : American Tract Society

d) 原本のタイトル変遷関係について記録する。

NOTE:原本の継続前誌: 新小説

NOTE:原本のタイトル変遷: 史學會雜誌 (第 1 號 (大 2.1)-第 36 號 (大 5.12))→史學雜誌 (第 37 號 (大 6.1)-)

NOTE:Originally continued by: Federal bar news & journal

2. 合冊誌についての注記

共に合冊されている逐次刊行物のタイトルについて記録する。

NOTE:合冊刊行: 碧南市藤井達吉現代美術館研究紀要. -- 碧南 : 碧南市藤井達吉現代美術館, 2011.3-

(関連元 : 碧南市藤井達吉現代美術館年報. -- 碧南 : 碧南市藤井達吉現代美術館, 2011.3-)

NOTE:「日本眼科紀要」と合冊刊行

NOTE:Issued with: Macpaint journal

F3.5 (その他の注記)

F3.5.1 (付属資料についての注記)

PHYS フィールドに記録しなかった、重要と思われる付属資料の存在とその詳細、及び PHYS フィールドに記録した付属資料の刊行頻度について記録する。

NOTE:付属資料: 神戸市背山路図 (図 1 枚)

NOTE:付属資料: 地図 (昭和 43 年より)

NOTE:Vol. 7, no. 6 contains wall chart (color ; 26 × 40 cm)

NOTE:Slides with every 7th issue

F3.5.2 (独自の巻号付けを持たない索引・付録・補遺資料についての注記)

本体とは別の独自の巻号付けを持たない索引・付録・補遺資料（別冊，増刊等）について記録する。索引については、できれば索引の種類、索引対象の巻次・年月次を記録する。索引が別個に出版されている場合は索引の所在またはその巻号数を記録する。

NOTE:別冊あり

NOTE:各巻第 12 号の後, 増刊大会特集号あり

NOTE:総索引: 第 47 巻 (1978)-第 51 巻 (1982), 1 冊, 1983 年刊

NOTE:総目次: 第 411 号は「調査情報総目次」, 1958 年 8 月上旬号-1993 年 5 月号

NOTE:Supplements accompany some volumes

NOTE:Volume for 1937 issued as a supplement to 1936

NOTE:Indexes: Subject index, volume 1 (July 1915)-11 (December 1920), 1 volume

NOTE:Indexes: Volumes 1 (1875)-60 (1937) issued as volume 61

F3.5.3 (参照データセットから流用入力したデータについての注記)

参照データセットのデータ中には記録されているが、資料現物では確認できなかったデータを記録する。

NOTE:JP/MARC による巻次・年月次: 第 1 号 (昭 59.10)-

NOTE:VLYR of LC MARC: Vol. 44, pt. 1 (Feb.1953)-

F3.5.4 (機関リポジトリの URL についての注記)

タイトル単位での機関リポジトリの URL を記録することができる。

NOTE:広島大学学術情報リポジトリ:<http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/meta-bin/mt-pmtlist.cgi?smode=1&tlang=0&pagecnt=20&isr1=AN00140969>

NOTE: 電子版公開あり (21 号以前は一部公開) :
<http://opac.ouj.ac.jp/search/report.html> (参照 2011.5.20)

6.2.7G [フィールドの繰り返し]

本マニュアル及び NCR2018 に定める注記 (の種類) ごとに NOTE フィールドを繰り返して記録する。

ただし、フィールドの繰り返し制限を越えてしまう場合は、同種の注記をグループ化し、一つの NOTE フィールドの中に記録するものとする。

6.2.8 PRICE

6.2.8A〔形式〕

PRICE	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
価格/入手条件	選択	可変長	254 バイト	1
価格/入手条件	選択			無
説明語句	選択			無

6.2.8B〔記述文法〕

記述文法については、「付録 6.3 雑誌書誌データの記述文法」を参照のこと。

6.2.8C〔区切り記号〕

入手条件に対する説明語句は丸がっこに入れる。丸がっこの前にスペース (△()) を置く。

6.2.8D〔フィールド内容とデータ要素〕

PRICE フィールドには、価格等、目録対象資料の入手条件、及び説明語句をデータ要素として記録する。

6.2.8E〔データ要素の情報源〕

PRICE フィールドのデータは、あらゆる情報源から採用できる。(→ 6.0D2, D3)

6.2.8F〔データ記入及び記入例〕

F1 (価格/入手条件)

F1.1 (売品)

目録対象資料にかかわる価格が売品である場合は、定価を通貨の漢字形または標準的な略語とアラビア数字で記録する。記録するのは初号の定価に限定しないので、定価の変更のたびにデータを更新してもよい。

PRICE:1200 円

PRICE:¥580

PRICE:\$40.00

F1.2 (定価がない売品)

1 冊あたりの定価が判明しない場合は、一定期間の購読料があれば入手条件を添えて記録する。

PRICE:年間購読料 6000 円

PRICE:\$13.50 per year

F1.3 (非売品)

価格がなく、目録対象資料が非売品である場合は、その旨をできるかぎり簡潔に記録する。

PRICE:非売品

PRICE:Free to members of the Association

F2 (説明語句)

目録対象資料の定価にかかわる付加的説明語句（特別な入手条件とその条件下での価格等）を記録する。

PRICE:72000 円 (セット)

PRICE:非売品 (会員頒布)

PRICE:\$35.00 (institutions) \$20.00 (individuals)

PRICE:DM16.00 (Germany) DM20.00 (foreign)

PRICE:\$62.00 (institutions; add \$12.00 for delivery outside the U.S.)

6.2.9 IDENT

6.2.9A 〔形式〕

IDENT	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
アクセス先に関する事項	選択	可変長	1024 バイト	16

6.2.9B 〔記述文法〕

記述文法については、「付録 6.3 雑誌書誌データの記述文法」を参照のこと。

6.2.9C 〔フィールド内容とデータ要素〕

IDENT フィールドには、アクセス先の URL などに関する事項を記録する。

6.2.9D 〔データ記入及び記入例〕

アクセス先の URL などに関する事項を記録する。

IDENT:http://opac2.lib.miyazaki-u.ac.jp/webopac/TA10170637

IDENT:http://www.kwassui.ac.jp/university/nichibun.html

6.2.9E 《注意事項》

IDENT フィールドにアクセス先の URL を記入することができるのは、GMD が w (機械可読データファイル)、SMD が r (リモートファイル) の場合のみである。